

童子



着

緑丘

全国版

(通巻)No. 33号
(38年度 3号)

大阪市北区梅田八番地
新阪急ビル8階
日本麦酒(株)内

緑丘大阪支部
編集部

大阪市東区道修町三の一
塩野義製菓株式会社内
目録 英三

苦米地先生

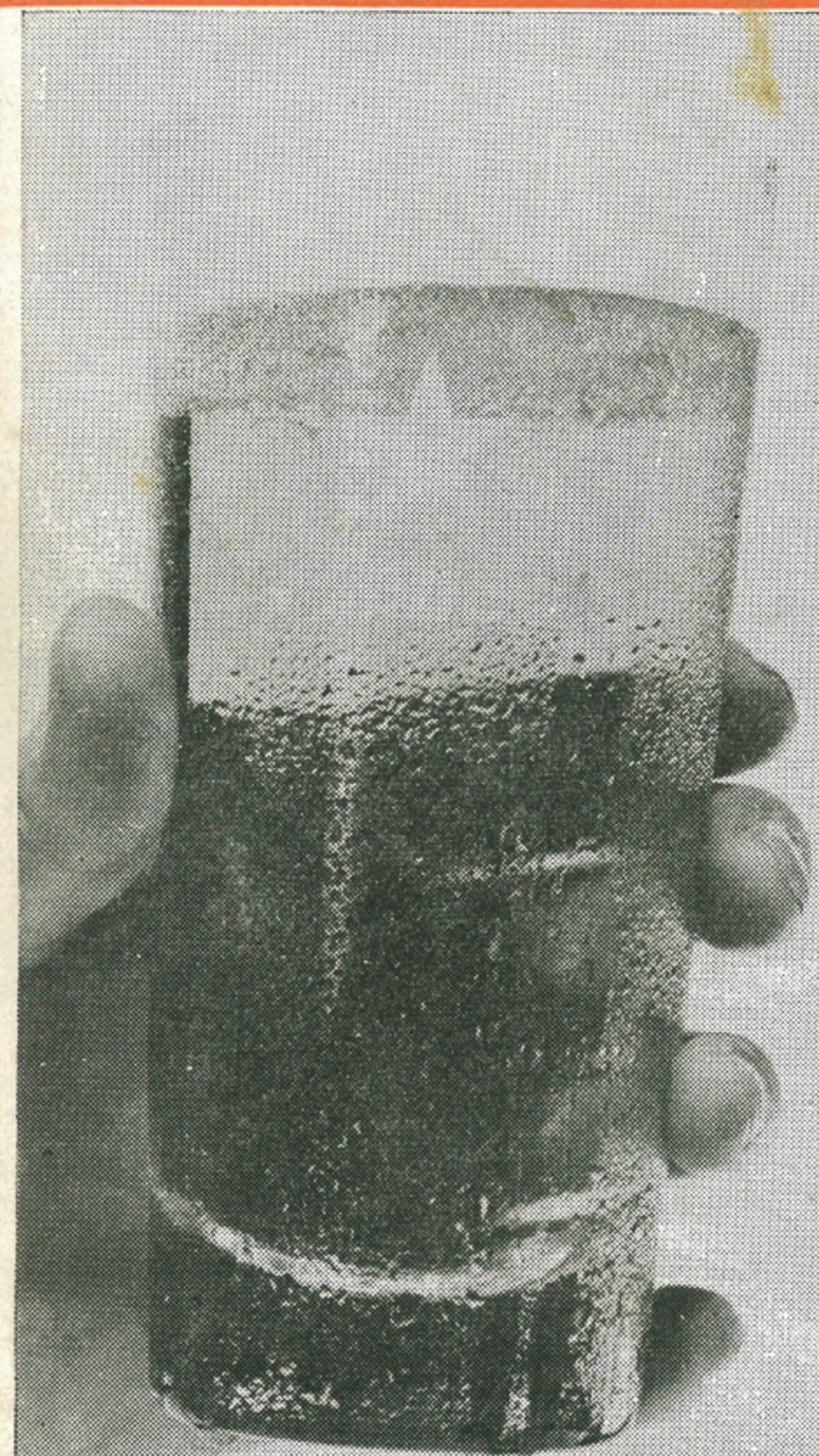
八十才祝賀会誕生

緑丘会東京支部長 上村甚四郎

(大 四)

恩師苦米地先生は今年かぞえて八十才におなりになりますので、在京の我々で菊花薫る今秋(十月中の佳き日をトして)先生のご長寿を心からお祝いすべく、ご夫妻をおよびして祝賀会を催そう。そして先生が第三代目小樽高商校長にご就任の昭和十年に卒業された方々を中心となつて骨を折って頂き、東京支部も共々働いて一人でも多くの方々にご参加願ひ、最も意義あるものにししたいと念願している次第です。

この頃は老人の寿命が長くなり、少しでも若からんことを祈る傾向があつて、かぞえ歳を嫌ひよろず、まる歳でいうことが、はやりとなりましてので、このんで行きますと苦米地先生は、今年のお誕生日で満七十九才、従つて「俺はまだ八十にはならんよ」と仰せられるかも知れませんが、昔から我国ではお祝ひ事は万歳かぞえ歳を用いており、そうすることが「善は急げ」にも相通じること勝手にきめこんだ結果が「苦米地先生八十歳祝賀会誕生」と相成りました次第、何れ時と場所を追つてお知らせ致す事と存じますが、全国各支部の方々に於かれて当日折よくご上京のご予定の節は何卒奮つて、ご参加賜りますことを前以てお願い申し上げます。



うまさもでっかい 生ビール!

ミュンヘンにも、ミルウォーキーにも、こんな「でっかうまさ」はありません。ご存じ北海道名物《生ビールびん詰め》です。「瞬間殺菌法」により、今までのナマより保存がききます。普通ビールの三本以上みんなて飲んで三五〇円

サッポロ★ ジャイアンツ

ローヤル・ゼリーが 生きている

美と強壮に 素晴らしいキキメを発揮するローヤル・ゼリー だが このローヤル・ゼリーも〈生〉でなければキキメがうすれます。アピ・カプセルの中には〈生〉のローヤル・ゼリーが入っています。

このカプセルにカギがある

アピのチョコレート・カプセルは「飲みやすい」だけのためではありません。製造元である 西ドイツ・マック社が 長年研究の結果〈生きたローヤル・ゼリーのキキメ〉を そのまま飲んでいただくために作りだした 特殊加工のカプセルなのです。

〈生〉のローヤル・ゼリーをそのままお飲みください。ドイツ製のローヤル・ゼリーが生きたキキメを発揮します。

- 疲れが激しいときに
- 中年期の強壮に
- 疲れによる肌荒れに
- 病後の回復促進に
- 妊産・授乳期のご婦人に
- 発育のおそい赤ちゃんに



アンプル入りもごさいます
アピ内服液 (Api Oral Liquid) デラックソ

ROYAL JELLY

日本新薬株式会社 京都市南区西大路八条下ル

アピ・カプセルの断面

読者の声

テール・カーネギー夫人著
藤井良訳

「夫を成功させる法」を 読んで

泉 安治 (昭二八)

真夏の八月一日から九日まで日本人事管理協会主催JST指導者養成研修に出席し、私の実習テーマは最終日の「レクリエーション」と決定四日の日曜日に、このテーマを如何に扱おうかと昔なつかしい銀座をブラツキ……目にとまったものの一つがこの本です。

著者の夫テール・カーネギーは御存知の方も多いでしょう。どうしたら友人を作り人に影響を与えることが出来るかを教えてくれた人としてその名は、名著

“How to win Friends and Influence People” (邦訳「人を動かす」)と共に世界中に宣伝されています。一九五三年の夏には世界旅行の途上日本にも立寄り京都を講演しています。

人生の達人といわれ処生術成功法に関する世界一流の権威者と目されている人です。カーネギー夫人は本

書を書くにあたって、このような夫のアドヴァイスを受けたらどうかは当然のことといえます。ともあれ夫を成功させる方法というテーマについても、とかく原則論にだけ終始しがちのわが国においては、その具体的な内容は甚だ有益といわねばなりません。

この本では、どんな婦人でも、夫が成功するのを助けるのに直ちに役立つ簡単、明瞭、具体的な技術が多くの実話の裏付けをもって述べられています。

重役であろうと、従業員であろうと学者であろうと、商人であろうと職人であろうと、また若い人、年配の人、誰にでも通用する一般性をもっています。

成功への第一歩に、まず人生に目的をもつこと。
一つの目標に達したら更に次の目標をたてなさい。
男はなぜ家庭を離れるか。
夫と趣味を同じくしなさい(ゴルフ未亡人を知っていますか)
夫にとって幸福な家庭を作るための原則

。夫の命はあなた次第
。妻として最大の貢献は
。勉強しよう夫を励ましなさい。
など私は、この本を自分でも読み妻にも読ませ、そして更に一人でも多くの人に読んでもらう価値あるものと思います。

初版発行昭和三十年というから、すでにお読みになった方もおられると思いますが緑丘人として、またその奥様方にも、この本は是非お読み

になつていたゞき……しかしして次の書物へと進みたいものです。
(ダイヤモンド社、定価三五〇円)
東海銀行 関西経営相談所次長

(続) 緑丘会 相談部

十年後のビジョン

X Y Z 生

本誌三十一号(五月二十五日附)に大阪支部十年後のビジョンと題して夢物語のようなことを書いた。ところが、東京支部の同窓の方々に初めとして、意外な反響をよんだ。この事で私自身が驚いている。

ついでには藤目氏より描いているビジョンをもつと深く掘下げて、またしつと明瞭にイメージを浮彫してほしいとの要望があり、こゝに再び筆をとった次第である。

さて、同窓会特に我が緑丘会は今後如何に発展すべきや?……等の難しい理窟はとも角として、年に何回か有志が集って、一杯飲んで校歌を合唱し、懇親を深めることも勿論結構であるが、ただこの程度の会合であれば、何かしら物足りないものを感ずるのは私一人であろうか?……

だからといって、終戦直後スタートして失敗した「緑丘株式会社」のような企業体を作り上げることは理由は色々あるが、私は賛成出来ない。

しからば何をしたらよいか?……ということになる。そこで私なりに同

窓会という性質を考えて、その事業としては、前回書いたようなことが最適でないかと考えた。即ち、同窓各位の子女の縁談の御世話、同窓の就職問題、同窓の著書の出版事業等々……これである。ことに皆さんに御考え戴きたいのは同窓の就職問題である。戦後の我国は経済界初めとし、アメリカの後を追っている傾向が非常に強い。最近ではスーパーマーケット、ボーリング等々と考えれば自ら首肯されることである。

そのアメリカにおいて、現在非常な流行をみている「経営者引抜きアツセン会社」は注目し価値すると思ふ。

過去十年間、アメリカでは経営者の引抜きアツセン業が急激な勢でふえて、アメリカの一つの社会制度としての役割をもつに至っている。

一九五三年には、全米を通じて重役引抜き専門会社は一社しかなかったが、今日では、ニューヨーク市だけでも五五五社が生れている。その中には、三〇人も引抜きスペシャリストをかゝえているところがある。年間予算も数百万円になんなんとする大きな会社になったところもある。

引き抜き専門家たちは、たとえば引抜きを頼まれた会社に一人の重役を世話すると、その第一年度の年俸の四分の一に相当するアツセン料をとる。

こういうアツセン・サービスに頼る会社は、だんだんふえてきて、現実に過去数年間、アメリカの主要大

会社の社長級ですら、アツセン業者の手によって据えられたという事実がある。大会社ばかりではない。もちろん、中小企業に対しても、そういう働きをしている。

一面、いわゆるビジネス経営者を初めとして、女子事務員に至るまでアメリカではセルフトレーニング・セルフデベロップメントに非常に努力を注いでいるようである。色々な講習会、大学の講座等に進んで、しかも自費で参加する。そして自己の経歴書に新たな能力項目を附加しようとして努力しているようである。

ニューヨーク駐在の某商社の支店長の御話であるが……

「アメリカの女の子を、週五〇ドル多く出してやとつたが、少しもうれしい顔をしな。一週間で、辞めるといふだした。よくきくと、いまの給料には不満はない。という。ちや、なぜやめるんだと追求したら、いうことがおもしろいじやないか。

いまの仕事では、自分の能力が十分に生かされない。そんな有様ではいまにウデがすたれ、つぎにスカウトされる時、ペイがグツと下がってましよう。

というんですな。彼女にとっては死活問題らしく、こちらも、使いなすだけの仕事がなく、やめてしまいましたがねえー」

アメリカではスカウトされたい一念から、会社をやめ、一時失業してでも、学校に通う。履歴をつけ、スカウト会社のヒューマン・インベントリー、(人間在庫表)に、プラスアルファしようというのである。

さて、「終身雇制」を建前としている我が国において、今急にアメリカ式の引抜きアツセン会社が出来るとは考えられない。

我が国においては、新卒については労働市場らしきものは考えられるが旧卒即ち年配者については労働市場は現在の時点においては考えられない。まだまだ義理人情が相当な支配力をもっており、逆にアメリカにおいて、日本の終身雇制が真剣に研究されているとも聞いている。アメリカにおいても従業員がしよつちゆう変ることは決して好ましいことではないのである。

しかし、アメリカに於いて引抜きアツセン会社が「人間開発」という名の成長産業として、急激に脚光を浴びてきていることを考えると、そして何事によらずアメリカの後を追って掛けている戦後の我が国の傾向を考えると、引抜きアツセン会社その儘の形では思はれないが日本式にホンヤクされて次第に我が国においてもかかる種類の事業が起って来るのでなからうか……

現にプロ野球界、芸能界においては、やゝこのような状態を現出しているのではないだろうか。

勿論法規上の問題もあるので、いまに急にとは考えられない。しかし私が考えているのは十年後のビジョンである。

「引抜き」というオダヤカでない名称や建前でなく、「人材開発」、「適材適所」、「能力開発」主義を標榜した人材アツセンの事業は将来必ず我が国においても企業化されること、

思う。

かゝる事業こそ、我が緑丘の事業として、ウツツケでないだろうか……しかし、あまり飛躍してはいけない。緑丘同窓というつながりによる人物評価の容易性を利用して、同窓の人材開発、適材適所を考えてボツボツと手掛けて行くべきである。

尤も、同窓子女の縁談御世話という仕事も併用しながらである。

東京支部の同窓会のどなたかが考えている「緑丘会館」の建設という着想も以上の事業とかみ合はせて考えてみると、何かしらボツボツ緑丘会十年後のビジョンが脳裡に浮び上ってくるようである。

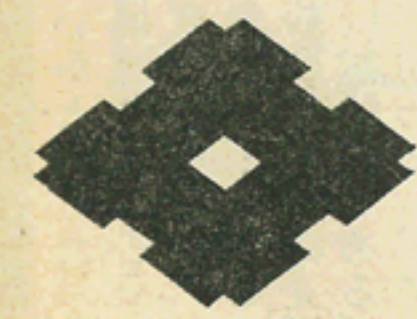
果して、私独りの夢物語りであろうか……

同窓各位の忌憚なき御批判を仰ぐ次第である。(未完)

私を立ち上らして
くれた「緑丘」

小池輝男
(昭一一)

住宅総合保険は



住友海上火災

本店 東京都中央区八重洲2の1
大阪支店 大阪市東区北浜5の15

し、御世話になりながら何とか生き続けて来たような事だったので、本年六月、これが最後のチャンスだ俺のいう通りしろ」という同期のH君の世話でいまの職場につき、お蔭様で何とか落着いて今後の人生を有意義に生きて行けるような目度が付いた処です。

多くの方々に御迷惑の掛け放しでまだまだ皆さんに正面切って御挨拶出来るような立場ではないのですが、割り込まして頂いた所以のものは、滅入って居た時代の小生に如何にこの「緑丘」が「もう一度何とか頑張ろう」という意欲とフアイトを与えてくれたか、ということを上上げたかったからです。

諸先生方を始め先輩、同期、後輩の諸氏、諸兄のご活躍の様子、また楽しそうな交歓の様子等を紙上に見る度に何とか「緑丘人」として恥かしくない人間に立直らねばと考え考えしたものでした。

この緑丘を何時までも、喜びにつけ悲しみにつけ吾々緑丘人の心の寄り処として更に更に発展させて行つてほしい。と熱願する次第です。

ついでには編集を一手に引受けている藤目君のことなのですが、戦後余り健康でなく、特に最近目は痛めているようである。

在阪の若い人達の誰かか、どうぞご多用のこととは思いますが、編集発送等の時だけ、何とか彼に協力してやって頂けませんでしょうか、切に御願ひ申し上げます。

八月二十二日から新潟の柏崎で全国都市対抗のテニス大会があり、埼玉の代表で行くことになった。この頃は朝に夕に埼玉大学でコーチがてらプレイしている。昔の半分位にはなった。もう一頑張りするつもり。

(日本ビーシーエス研究工業株)
埼玉県浦和常盤町一〇一三三八)

私のたわごと人生観

J. S. (大7)

人の一生の不幸は老後でできまるといふ。どんなに青壮年時代が華やかであつても老後の一幕が不幸ならばその人の生涯は悲劇である。吾々は今一番大切な時である。諸君！幸福な最後の一幕を演じようではありませんか。

毎日快眠、快食、快便に心がけ、暇あらば散歩して脚を丈夫にす

山口保栄 (大九)

小生も、この十二月には六十四才(大正九年卒業)になりますが、至極頑健にすごしております。老境に入つては同窓の便りが何よりの楽しみで心の慰安になっております。

林源太郎 (大四)

幸に身体は達者でゴルフに精進しておりますから御放念下さい。

小野寺佐 (昭一一)

「緑丘」有難度う、今朝は珍しい事に早起したので夢中でむさぼり読みました。卒業三十年記念の準備として同級生の名簿を整備して下さい。これも小樽の本間君、越崎君、在京の小島君あたりが適任と思えます。経費は何とかなりですよ。

余り。気分転換を上手にする。余りものごとにくよくよせぬこと。

「過ぎ去りし昨日はも早かけもなし」

まだ来ぬ明日も形なければ「子供や孫のことに余り口ばしを入れぬよう。長年苦労を共にした女房を共白髪の末の末まで大事にする。こと。私はこんな心持ちのオヂイサンになりたいと念じて日々修業している。諸君賛成しませんか。

(五七会(大七)湯ヶ原大会に出席して)

広告マツクと美術印刷・紙工品



三優社

株式会社
京都市下京区寺町通松原下ル
TEL. (35)0271-4950-7713
取締役社長 山村太兵衛 (昭12)

是非一度皆様からの御用命を……特別奉仕

村瀬 玄先生を悼む

玉井 武

(大一一)

村瀬玄先生の御長逝を拝承し、今は信じられない気持ちです。

小生は先生から一月十六日付のおはがきをいただき無事人間ドックを出た喜びを聞かせていただいただけに嘘報の如く思われてなりません。謹んで御冥福を祈りつゝ。

芦別(北海道)には

同窓が十三名

西田 豊彦

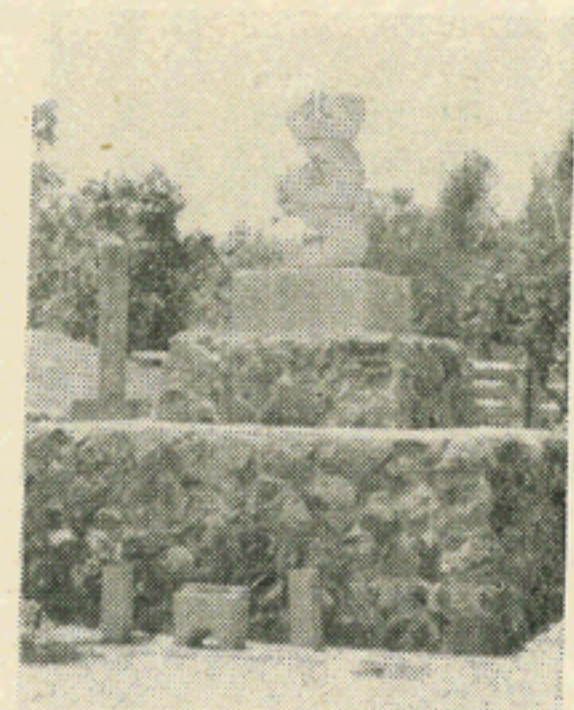
(昭三一)

毎回充実した「緑丘」を出版されその熱意と努力にただ感謝する次第です。当地は北海道の中部の小さな炭都ですが、同窓が十三名おり、それぞれ社会的に活躍しております。私の父は小樽高商に長く勤務しておりました西田彰三と申すものです。どうぞ御自愛の上ご活躍下さるよう心から念じております。
(北海道芦別市本町一九〇公住七)

沖繩 北霊碑に詣って

河西辰男

(昭一四)



六月上旬商用で沖繩へ参りました。紺碧の空と白い珊瑚礁、科学の粋を集めた軍事基地と哀愁にみちた民謡と舞踊の古都、すべてが対照的です。

明治三十七年以来の大旱魃で、一日も日近く全く雨が降らないので砂糖黍や煙草の葉が立ち枯れて、農産物四十億円の損害です。

本土では五月初旬から雨つづきに悩まされているのも全く皮肉なものです。

仕事の余暇をさいて南部の戦跡に詣りました。

北海道関係の戦没者の慰霊塔「北霊碑」に花をささげ、心から冥福をお祈りしました。

照りつける南国の酷暑に、六月二十三日の「沖繩の終戦」を回想しま

吾妻スカイラインの旅

小野 寺 佐

(昭一一)

時雨やみ霧晴るゝらし吾妻山雲の動きのおどろなるかも
疾風雲バス群包む濃霧闇へツトライトの蛇行の遅く
雲流れ吾妻山々紺青の頂き露れ時雨晴れんとす
岩壁のとき根雪の切り通し窓にすりつづつバス通ふ道
(会津詩人協会々員)

小樽緑丘会第一回定時総会

吾が小樽緑丘会第一回定時総会は八月十二日中央ホテルにおいて開催された。

会員総数八十二名中、出席者三十名、大学側からは松尾教授を筆頭として実方、宇賀治、久野の若手三教官そしてゲストとして古瀬教授が出席した。
午後五時三十分新谷幹事長が開会の辞を述べ、会則の規定に遵って讃岐会長が議長となって議事が進行された。
一、昭和三十七年度事業報告
二、昭和三十七年度収支決算報告
三、昭和三十八年度事業計画案
四、昭和三十八年度収支予算案
を順次附議し新谷幹事長より夫々説明の後、清水監事の監査報告があり、満場一致を以て原案の通り承認した。
引続いて本日のゲスト古瀬教授より電子計算機の機能とサービセンタ一の計画について素人でもわかるように、その要点を約三十分間で解説、一同は近いに参観して実地に説明を聞こうではないかという意見に一致した。次いで懇親会に移ったが、中央ホテル井林社長の御厚意でキャバレーメルボンから多数のホステスが参加し鯨飲

馬食しても、なほかつ尽るところを知らないおもてなしで会費が安すぎた。さらにホステス中の美声の持主や会員からも余興が続出し、最後に校歌を高らかに斉唱小樽緑丘会、母校の万才を三唱し、和気あいあい裡に午後八時閉会した。
なお近日中午に役員会を開き、総会の意見を尊重して具体的な事業計画を審議することになったが、一方会員の増加についても少くとも二百名位にはしたいという意志で本年度中に会員倍増を図る決意である。

小樽緑丘会
小林 啓 作 記



総会風景

緑丘会札幌支部総会 8.19

支部長 富樫 長吉 (大 四)
副支部長 井本 二郎 (大 五)
" 穴釜 升夫 (大一一)
" 池田 升一 (昭 四)

昭和三十八年八月十九日緑丘札幌支部総会を官の森荒井山山水閣にて開催す。出席者五十有余人本部より加茂学長外数名の諸先生が出席、母校の近況と学長近く渡欧せられる事等につき、また最近各支部の情勢報告あり、当支部長老井本氏より札幌支部は本総会で表記の通り役員もきまりましたので今後は学長の期待に添うよう支部の発展を約し総会を終了す。

(松下電器産業株式会社)



共栄火災海上保険相互会社

本社 東京都港区芝田村町1丁目3 TEL 代(591) 6431
大阪支社 大阪市南区安堂寺橋通2丁目9生協会館内 TEL 代(261) 7356

北海道中央バス株式会社

取締役社長 松川 嘉太郎
専務取締役 杉 江 猛

小樽市色内町7丁目 TEL (代) (2) 4181

母校弓道部・卓球部

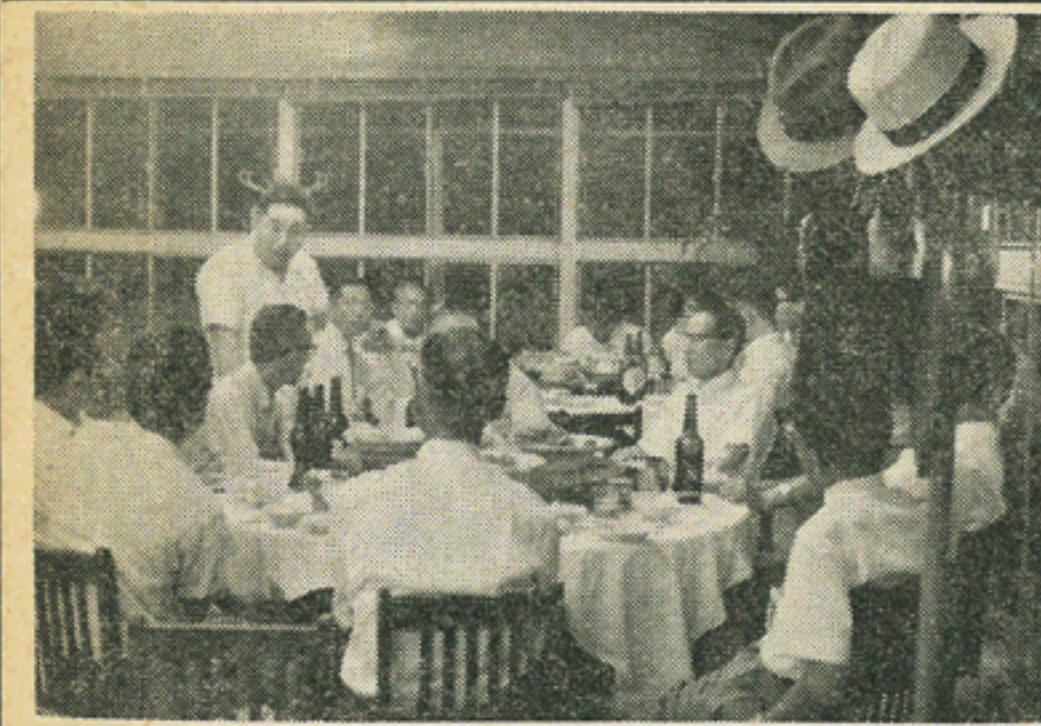
全国大会に出場

善戦むなく破る

神戸

母校弓道部は神戸王子体育館で全国大会に参加、戦績芳しからず敗退した。

七月二十日神戸支部は本間幹事長が神戸支部員に呼び掛け東明閣で歓迎パーティーを開催した。椎名幾三郎元教授も参加、夕闇迫る神戸港を眼下に見降し、本間幹事長の慰労の辞にはじまり、学生を交じえての歓談も尽きず、乾杯を以て歓迎会を終る。



会場風景

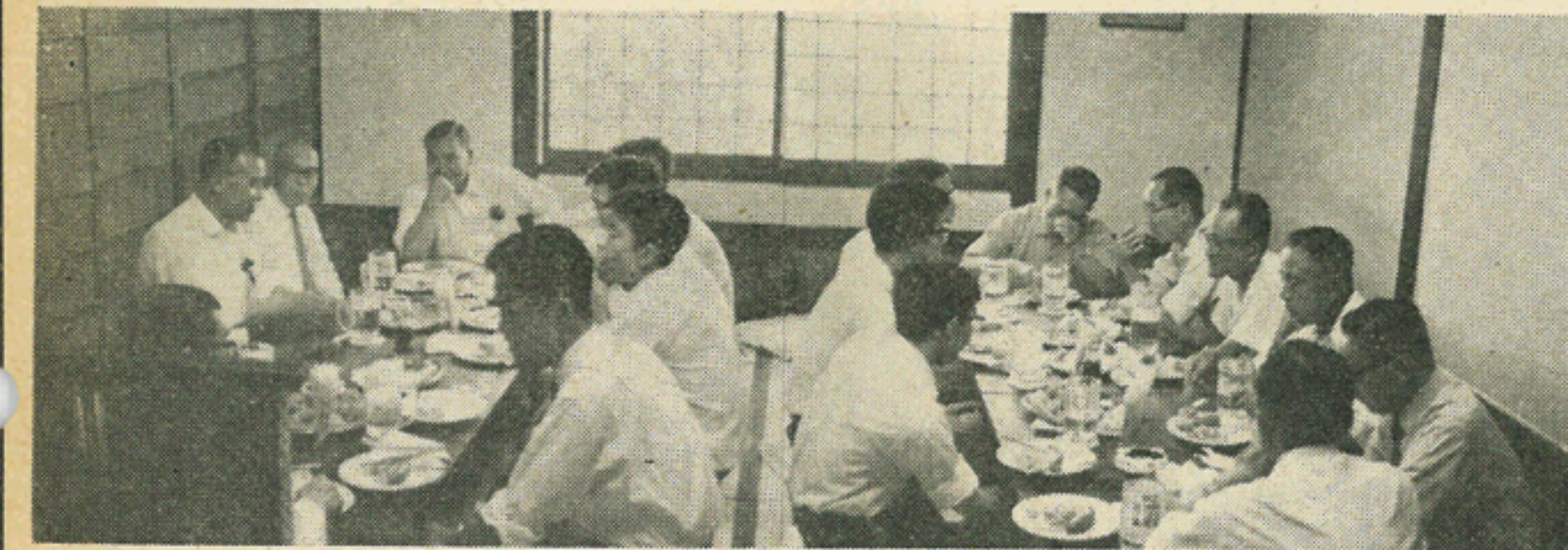


椎名先生は唄う

大阪

母校卓球部選手六名、七月二十三日大阪、善戦するも遂に敗退のやむなきに至る。

大阪支部有志、ニューミュンヘンに集り歓迎パーティーを開いた。大阪支部長石田平八氏立って歓迎の辞を述べ、乾杯にはじまる。本日の参加者元卓球部選手田辺靖雄氏、元剣道部キャプテン堂城六段、元柔道選手四谷、宮地、墓目の有段者に加えて関西壮年組ダブルス国体選手宇山慶三氏等、元運動部の先輩が勢揃いした。何れも大会の思い出を語り合い話はずきない。若い血に燃える選手諸君の音頭で緑丘歌を唄って解散した。



会場風景



校歌を唄って解散

緑丘会名古屋支部役員決定

- 支部長 増田 常次郎
- 副支部長 高橋 一男
- 幹事長 山田 鳳蔵

緑丘会名古屋支部は五月二十四日支部総会開催、(緑丘第三十二号既報)次年度幹事選定を満場にはかり支部長一任と決議の処今回左の諸兄が選任された。

- 加藤 敏 (昭一五)
- 宮脇 保雄 (昭一七)
- 水越 金二 (昭一九)
- 阿部富次郎 (昭三〇)
- 剣持 資郎 (昭三〇)
- 加藤 利雄 (昭三四)
- 吉田 益彰 (昭三八)

高橋副支部長は語る「財界の若い幹部が今回名古屋支部の中堅として強力な推進力となってくれる事を大いに期待しています。大阪支部の十日会に先般参加させていただきました、大変参考になりました。「緑丘」も当初名・京・阪・神の「かけ橋」として発足したのですが、今や名実共に全国版となり、回を重ねて内容も充実してきました事は誠にたのもし限りです。名古屋支部の全員が購読者となるようプリントを印刷して勧誘状を幹事長から発送していただきます。」

関西地区京阪神募金事務局閉鎖

昭和三十六年七月二十九日流通技術研究所(ビジネス・ドック)の事務所の中に関西地区募金事務局が開設され、宮地邦介事務局長が就任された。

今回募金の目的を達し、法人七五六万円、個人二五二万円、合計一、〇〇八万円(申込)の成績を挙げ、七月三十一日付を以て閉鎖する事となった。

なお今後の申込受付は母校に於て事務を引継ぐ事となった。

◆関西事務局閉所に際し



昭和三十六年七月以来二ケ年余、老松町新土地ビル(流通技術研究所)曾根崎日電一日邦工業と事務所を移すこと三回。幸に関西の募金を終えて、この七月末を以て大過なく閉所する事が出来ましたのも一偏に同窓各位の御協力と献身的なアシスタントの方々の御援助による所多く、併せて加茂学長や神田東京事務局長の数度にわたる御来援の賜でありまして、各位に対し茲に深甚の感謝の意を表します。

勿論私の微力の致す所、御期待にそひ得なかつた事は誠に汗顔の至りですが、当地における同窓生の分布状態と、その社会的活動の現状より推して、この程度にて御勤弁願へば望外の幸に存じます。

さて、この二ケ年が程を振り返りますと私の人生途上追憶の一頁ともなる事が多々ありました。在阪同窓僅かに二百有余人の内、母校愛に燃えて募金委員となり、自からも個人募金に応じ入金後間も無

く急逝された方、あるひは申込後不幸入金未済の儘、黄泉の旅に出られた方、或いはまた折角申込みされたものゝ病に倒れたり、職を失つたり事業がうまく行かず、払込みが出来なくなられた方々も二、三に止まらず、是等の人生縮図に当面し、転々人の世の無常と栄枯一場の夢を痛感したことでした。

それにしても、如何にフユウ(かげろう)を天地に寄する身なりとも故郷を慕い、母を憶い、吾れに母校と同窓ありと思う時、自から心懐を清められ、勇気も出て来るのではな

いでしょうか。私は幸に老来益々元気、毎日減らず口を叩きながら関係のN会社の育ち行く姿を眺めながら感恩奉謝の生活を続けて行くことにしています。

ただこの二ケ年のうち、私に変わった事といへばM商事から月々貰っていた顧問料が減額になった位で、これも今日では御笑種に過ぎない。

同窓諸君の変わらぬ御交誼と御指導を御願ひ致します。

宮地邦介記

まんびつ五人集

報 恩

西村 百太郎

(京都支部)

在学三年間を同じ玉之井寮に暮して来た谷本朋次君から郡菊之助君へ、そして私へとバトンが渡された事をうれしく、懐かしく思います。思い出は次々と浮び、書きたい事はいくらでもあるのですが、紙数の都合もありますので、私の最近の随想を、日記のなかから拾って書かせて頂きます。

鸞聖人は「自分の遺骸は加茂川の水に投じて魚の飼食にしてくれ」と言はれたそうであるが、奪った生命に對してお返しをせられるお気持ちであつたのだからと想像される。

衣類についても住宅についても、数限りない人達の恩恵によって生かされている事を思うと、いくら感謝しても感謝しきれない。

さらに、神仏の恩、国の恩、師の恩、隣人恩等を思う時、如何に多くの御恩によって生かされているかが判つて来る。

自分の生活の基となる職場に對しても深く感謝の意を表したいものである。若い人達は、自己の労働力を売って賃金を得るという意識が強く、その職場の与えられた事に感謝する心が足らぬように思う。この職場の与えられた、因縁を喜び、全生命を傾倒して職責を全うせねばならないと思う。

ある名医が「無病の人は短命である」といはれた。自分の達者であることに油断して、かえって早世する人の多い事を物語っている。私は三十才までは生かされぬと診断され、

次回

松本 功田
奥田 力田
鎌田 金井

義直 (大八)
素重 (大九)
正勇 (昭一)
三 (昭一)

度々重病に犯されたけれども、そのため、かえって人並以上に身体に注意するようになり、六十才以上まで生き永らえさせて頂いたのは病のお蔭である。この意味において私は病によって、かえって長生きさせられたことを感謝している。

ある難破者の履歴書

小島 憲市

(北九州市)



考えて何ると、世のなかのどんなことに対しても感謝せずに居れない気がする。私を苦しめる色々な苦難に對しても感謝せずにおれない。それらの苦難によって少しづつでも私が生長させて頂きつゝあることを思う時、あらゆる苦難に對しても感謝しつゝ生活させて頂かねばならぬと思つて居る。

私達はうっかりすると、自分の力で生きていようと思ひ勝ちである。しかし、よくよく考えれば考れるほど、多くの御恩によって生かされていることを感ぜずにおれない。

「煩惱、眼を障えて見たてまつらずと雖も、大悲憐れきことなくして、常に我を照したもう」という経文の心を、いまさらのように深く味はさせて頂く次第である。生きる権利を唱えることもよいが、生かされている恩を忘れたら、畜生とかわらない。

大正九年満鉄入社経理部会計課勤務、派手な恋愛をやつて昇給停止一年、大連道場剣道部選手として満鮮各道場に遠征一ヶ月。

大正十一年北京留学同学二人を合せて四百元の旅費で中支、南支から香港、台湾迄五十日間の貧乏旅行。

京綏線見学旅行中大同の石仏見物洞窟内でミイラを発見する。大谷光瑞さんが旅順博物館に予けておられるオールドス砂漠から伝来した物と同じ、香港で入手したアリストープス女史のマリドラヴ訳出二版二千部瞬く間に売切れ、雑誌太陽で山室先生に名訳と賞められる。満蒙文化協会から支那鉄道概論二千部発行。

昭和二年本社借款鉄道係に転勤、六年満洲事変勃発、関東軍囑託として交通委員会総務処長任命。リットン調査団接待委員として随行。

昭和七年、鄭家屯事務所長興安總署次長として関東軍に徴用のため後任として敗残兵横行のなかに田舎に落ち。

総勢一千二百名と揚言する。いわゆる匪賊の襲撃を受けたが城内に一兵も入れしめず撃退。

郊外にある種馬場を襲はれ純馬三百頭を拉致さる。直ちに満洲側巡警百五十騎を動員追撃して半数を奪回す。在郷軍人分会長拉致され、捜査中の処数日後死体となって線路上に発見、四洩線列車匪襲を受け脱線てんぶく死傷者百数十名を出す。

ベスト発生、事務所臨時防疫本部を設け媒体を自せらるる、野鼠タルバが約三万頭を買上げ解剖検鏡した処、発見出来なかつた模様。

興安嶺踏破女余閑と壮語していた前任者が力を入れた蒙古人相手の予托牛も事変の為大分なくなつた様子なので治安が稍改善されたのを機会に護衛付で調査した処一万二千頭プラス仔牛の筈の処一千頭ばかりし

か残つていないことが確認された。所員二名と共に騎馬で開魯、北巴林、林東、林西、経棚、烏丹城、赤峰各地を視察する治安の状況によつて五騎から二十騎位の護衛兵を借りての二十六日間の長道中明けの日も明けの日も一ぼろ千里の草原で航海と同じであつた。

これは北京在任中の書き落しであるが会社の調査団が外蒙国境において捕へられ、西北督弁馮玉祥將軍の口添で張家口經由釈放される事となり、身代金としてか、謝礼金としてか、八十万だか、百万円の一部二十万円を先渡しすることとなり、張家口までの現送を命ぜられ、十円紙幣二万枚を古靴につめこんで夜行列車の三等客となり、命をちじめたこともある。

十年春の齊々哈爾事務所に出、偶々苦米地校長が満洲出張で来られたので、大連に出迎へ、大分匪賊の出没を気にせられていたようであつたが夜行で御伴し序に山七面鳥猟にホロン、バイル行きをおすゝめし、海拉爾派出所の乗用車でロシア運転手を道案内に時速九十*で追つかけた。山七を射つたりしながら夕刻甘珠爾廟前に到着、蒙古包に落ち付いて羊の丸煮を骨ぐるみかじるといふ野趣を味つた。戦果は鶴一羽、大雁二羽山七面鳥十九羽

十一年、関東軍の成功に刺激されてか天津軍が北支四省工作を始め、山東山西察哈爾スイ速に満鉄から顧問候補を出す事となり一番対日強行策を探つていた綏遠に派遣され特務

機関員六十七名の外、日本人皆無の地に行つて途端に尾行二名付の歓迎を受けた。機関のトラックで二週間内蒙ウヂウムチン外一帯を視察する

関東軍の後援する蒙古徳王の綏遠進政策進行し、身辺危険となり退去命令を受ける。

一緒に赴任した大原派遺員が北京市政府顧問に就任の為後任として大原に入る。七月蘆溝橋事件勃発、身辺保証し難しと退去を申出られ、大同經由戒嚴令下の北京に出で最終列車にて天津に帰る。

天津攻略が始まり六疊の間でナギナタを振り廻すような騒ぎ、満鉄北支事務局人事班長天津政府顧問等手伝中軍特務部長命により山西省内の主要産業二十余社から成るコンツエルン西北実業公司接収の為工作員三十余名を伴ひ、石油万載の五屯貨車の上乗をしたり、黄土層の断崖を軍用トラックに便乗して十一日目に大原一番のり、北京留学中の知友萩原大佐の召請で杭州特務機関総務課長兼建設課長として赴任、浙江省政府顧問とも兼ねて宣伝工作に従事、便衣隊のため杭州市長が暗殺されたのは遺憾であつた。

十五年、満鉄復帰漢口に十一日がりて揚子江通航漢口ではゴルフばかりやつていた宜昌まで行つた。

十八年は満鉄退社、元満鉄理事と組んで資本金三百万ばかりの農事会社を創立、専務就任、奉吉線盤石県に第一農場を開き執務中終戦、第三回目の命がけの脱出を経験する。大連帰着後はソ聯兵に家の一部を占拠

され住宅調整と称して残りの一部も日本人二家族にとられ、二階に蟄居させられる。二十二年二月送還まで売食生活、帰国後の生活苦は思ひのほか厳しく満洲国建国や戦争の方が楽な日々であつた。

人生の終着駅に近づいてB/Sを作つて見ると財産、地位、名誉、家庭生活は元より健康までも犠牲にして残つたものは今となっては小供の玩具にもならぬ勲六等瑞宝章、勲五等瑞宝章、支那事変従軍記章、大東亜戦争従軍記章、満洲国建国功労章満洲国皇帝即位記念章だけ、幸なことに娘二人は夫々片付、残るは適令期の息子一人という次第、近所によい娘さんでもあつたら御世話を願いたい。

次は満鉄一の成功者、東京都杉並区永福町二〇四、奥田直君に渡した。(大九)

身に泌みたるもの

梶川 亨司

(岐阜市)



藪自英三さん——大兄も立派になられたこと、思ひます。君が緑士会にもゲストとして出席され絵を書いて下さることは、ほんとう

に嬉しいことです。昔、庁商時代の君の兄さんをよく知っていました。仲々才気溢れる秀才でした。大兄はもう個展も何回か開いたことと思いますが、抽象ですか、それとも具象ですか。小生も下手ながらこの道が好きで、樽中時代ガンボ(ガンボウジ)という絵の先生に可愛がられ何度も展覧会に出品を命ぜられたものです。いまでも絵筆は捨てません。ほくの制作はおそくて二、三日です。出来ると、みんなに差上げるので只今のところ、三三点ばかり残っているだけです。油絵は幾度でも塗りかえられるので、よろしいね。

参禅された。という話をしています。君も仲々信心深いお方なのですね。ほくも長年大病(ヘルペス・ノイローゼ・カリエス)を患い、病院をかえること七度、漸く信心深くなりました。生死ぎりぎりの断崖に立ったこともあり、一時は自ら世を去ろうとしたこともありました。藤村操・太宰治たちのことが頻りに頭に浮かんだものです。しかし現在は立ち上っています。弱いがゆえに強いのです。こんな逆説的な論理も宗教の世界では成り立つのです。只今、私を慰め励ましてくれるものは、ケニーニヒスベルヒにあるカントの墓碑銘「ツヴァイ デインゲン エルブ ヌーレン グスゲミューネト...:ペヴンデルング ウント エールフルヒト:」(「実践理性批判」のなかの有名な一節)と、いつて星座の荘麗さと心奥に内在するモラリッシュなゲゼツツとをほめ讃えた。彼の謙虚な人間性ともうひとつ、小生が山岳部員に頼んであること「ぼくが死んだら遺骨の半分は小樽の墓地(父母が眠っている)に葬り、半分は風の強い日に槍ヶ岳の頂上から粒にして撒いてほしい」にある。それは、この老人になった現在、身に沁みて噛みしめられるものは、人の心の美しさと雲海(日の出前の)美しさが、この世における最高のものと観じているからです。

墓目英三さん——
この間、緑丘の古い卒業生(昭一四)が来て、大兄が小樽の正法寺で

次回、功刀素重君に御願ひします。(大一一岐阜大学農学部教授)

まんびつ五人集

過去のことども

竹島 篤二郎 (門 司)

「まんびつ五人集」より突然の指名。いさゝか困惑の体ですが名古屋精糖飛塚誠一君折角のレコメンド、無下に断ることもできず拙文をつづる次第。

私は昭和十四年の卒業で現在門司で船屋商売をやっております。在学中野球部に籍をおき、対北大予科戦には若い熱情を燃して来たもので、三年間の対戦成績は四勝二敗。試合前には先輩諸兄より連日マムシを喰はされて鼻血を出した。無理を承知で大谷教授の自宅を合宿所にして奥さんに並々ならぬ迷惑をおかけした。 (当時小学校にも行っていなかった可愛いお嬢さん方御二人も、すでにお母さんになっていたりとか、年月の経過をひしひしと感じます)

祝勝会には必ず飛び出す当時野球部長室賢さんのドイツ語の歌や大野教授の立方私のラバさん。祝勝会の流れでサーベルを地面に引ずりながら稲穂町界隈を千鳥足でまんざくしていた配属将校達大佐。女性にもすぎ、若き後輩をばらはらさせた木内武之助投手(昭一二)。札幌間列車内の勝利のストームで脱線するから少し手心を加えてほしいとハラハラしていた車掌さん等々、いまになっても懐しく過去のことどもが生

々と走馬燈の如く思い出されます。時々行はれる社内野球でも昔取った杵柄、何となく出て見ても気はあせれど体動かさず、極めて不本意ながら年寄り扱い、結局ベンチウオマーになるのが関の山といった所です。在学時代練習で散々痛みつけられ、恨骨髄に徹していたマナージャーの高橋景則さん(昭一二、現三井船舶シカゴ駐在員)と奇しくも同じ会社の縁をむようになつたのも何かの因縁でしょう。

さて、いまに至るも心掛りのことが一つあります。苦米地英俊先生が国会議員の一員として泰國を訪問された昭和三十四年五月十六日の事であり、早速在盤谷緑丘同窓生七八名、家族同伴で集り夕食を共にしデザートは小生邸でということになった訳ですが、偶々盤谷はフルーツの王様のドリヤンのシーズンでありましたので食卓に供した次第です。御存知の方も多いかと思いますが、ドリヤンという奴は猛烈な臭気があり、この季節ともなれば、盤谷市内も、この臭で一杯になるほどです。馴れると美味なものです。始めての人は仲々食べられないのが普通です。所が先生はドリヤンは始めてであるにも拘らず、同窓生の心づくしを無にしてはどの心づもりか如何にもおいしいとの面持で三切、四切とパクつき、かえって一同恐縮した次第です。翌朝帰路の飛行機の中で下痢でも起きたのではないかと、いまでも心掛りの一つです。グイクトリヤ女王が、ドリヤンは世界フルー

ツの王様であるといったそうですが女王にとつてドリヤンが最初のものであつたとすれば、それは訪問相手国に対するジェスチャーではなかつたかとも考えられ、苦米地先生には全くお気の毒なことをしたものと後悔しております。

次回は昭和一四年の金井 勇君に御願ひします。(昭一四 三井船舶株式会社)

中野先生を

小樽に迎えて

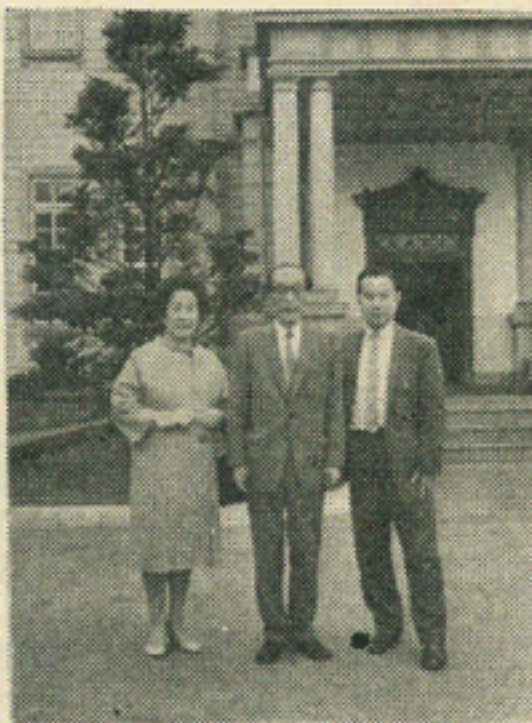
本間 誠一 (小樽支部)

小生学校時代「緑丘」新聞編集部長として、今日の社会人向「緑丘」編集部のお苦しみは一入身につきまされる同感を抱きながら、とうとう「切日ギリギリの線に追い込まれてしまいました」。

ギリギリといへば三年生の夏休み他の部員が帰省して殆ど一人で「緑丘新聞」を編集したことがありますが、しかも麗麗しく鎖夏特集と銘打って、諸先生の海外紀行文を中心に編集したのはよいが、いざ割付けとなるとどうしても記事が足りない。一人残っていた二年生の部員と知恵をしぼって「窓を明けると紺壁のナポリの海は波一つなく、オレンジの香りと共にその時オースレミオの歌声が...」てな調子の迷文をモノして文責在記者ということで恐縮な

から中村和之雄先生か誰方かの名前を拝借したことを思い出す。

今から考えると冷汗三斗。何とか物事の辻褄を合はせる小細工を処世術の一端として、この頃から覚え始めたようです。その編集を終って昭和十年七月下旬から一ヶ月炎熱の支那大陸を単身旅行した。単身と言っても上海には叔母夫婦が、天津には三井物産に佐々木由太郎叔父(三期生)がいたので毎日ブラブラ居候生活で、時には蘇州、杭州、南京、北京と気楽に見物したのが、後に昭和十四年から三年間中野清一先生のお伴をして満洲建國大学へ行く動機にもなったのでしよう。この時代が日本の最盛期であつたことは、神戸から上海へ渡るべく東海道線を下つていた急行の同じ座席がたまたま二十才前後の青年ばかりなので、聞いてみると一人は東大の林学部で台湾の演習林へ、一人は社用で朝鮮に、一人は満洲旅行に、それに引きかえ、いまの青年達にアジアの門戸が閉ざ



されているのは全く気の毒であり、このエネルギーの善導こそ社会的な急務だろうと思ひます。

まんびつ五人集

中野先生御夫妻 一展望台で



て新聞紙上にも「冷夏」という活字が散見される涼しさ、事実七月十七日には小樽の最高温度は十七度と例年より八度も低く、夜分には十度を割って半袖姿の旅行者は震え上る始末。全道の農作物も冷害一步手前まで追いこまれています。本州の炎暑に喘ぐ諸兄には申訳ないが、実際吾々中小商工業者は、涼しい処か肝を冷している現状です。

しかし近年一番嬉しかったことはこの涼しい時に恩師広島大学の中野清一先生夫妻を小樽におむかへできたことでした。六月二日午後三時アカシアの花咲く札幌日航ターミナルにバスがつくと、まづ奥様が満面の笑をたゝえて、次で先生が瘦身の温顔をほころばせて降り立たれる。先生にはせると北海道でなければ見られない奥様の笑顔だそう、小樽育ちの奥様には昭和十四年以来、二

十四年振りの北海道入り。出迎への梅津正一、鎌田正三君とも賑やかな談笑後、車は坦々たる札幌国道を一路小樽へ、夕食後大野前学長、松尾、久木教授、それに元図書館の木田橋さんも交えて一しきり懐旧談に花が咲き、肺にしみ通る夜気のなかをカフエー・ナポリに往時の情緒を求め響きのみ。翌日懐かしい地獄坂を学校に、昔以上にきちんと整頓された校舎、校庭、偶然林田先生の帰途に会い、二本のボブラを背景に記念撮影。商大が誇る電子計算機室、ランゲージ・センターを参観して、折よく在学の加茂学長、浜林先生に御目にかゝる。昔交らぬ港の空気を吸ってから、奥様の実家のあつた水天宮の裏山を登る。一木一石に対する奥様の記憶振りに、先生を呆然の態。翌四日、俱知安の友人を訪れたお二人に新婚旅行の思い出の地ニセコ山温泉に一泊、中山峠越えて、札幌入りをして海津氏宅泊、翌日は札幌市内観光後、北海道最後の夜、旧友のおられる定山溪第一ホテルに泊られて、七日快晴の千才を東京廻りで離道されました。

人類が残した最も深い傷痕、広島“の奇跡的な復活を身をもって体験された社会学者中野先生は目下全世界にアピールする英文の一書を執筆中とのこと、炎暑の坩堝のなかで御苦心される先生と奥様の御健康と御多幸を祈ってペンをおきます。

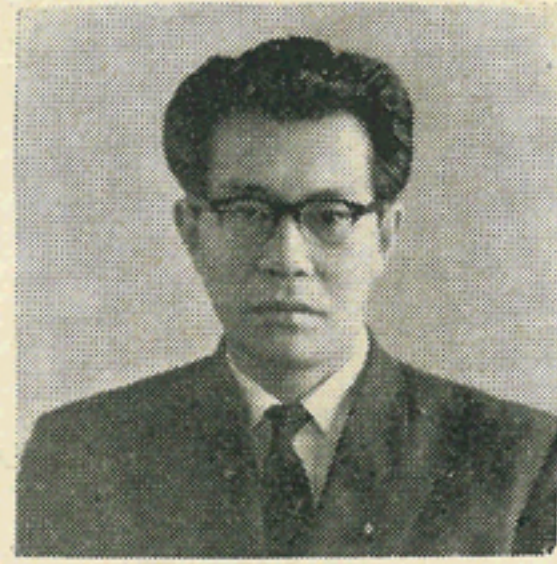
次回は北大教授、経済学博士鎌田正三(昭一一年)氏に御願ひします。(昭一一 本間商店社長)

緑丘人物譚

(4)



議員生活
18年



衆議院社会党議員
北海道開発調査会
世話人

岡田春夫氏(昭12)

「出身は美唄で、中学は岩見沢です。高商時代は講演部に席をおき、夏は道内の巡回講演旅行に出たものです。部長は若き少壮教授南さん(現中大教授)でした。いまでも当時の連中が集ったりします」
議員生活は……
「道会議員も入れると約二十年です。社会党の方は中央執行委員会企画室(註、党のブレン)担当です。議員としては外務委員会の理事をやっています。外交問題は特に調査に力を入れ、何年たっても一年生のつもりで勉強しています」
(とかかる岡田先輩の風貌からはこの人が議政壇上の勇者かと疑う程人触りの良い温厚な紳士である。伝へ聞けば氏の勉強研サンプリは議員第一といって良い程で、国会図書館

をフルに利用し、また各方面からも得難い資料や情報を集める妙手があるという。敵陣営からも畏敬されるという、その豊かな人間味と相まって、いよいよ活躍が期待される。)
身辺のこと。
「二人とも男です。上は高校(日比谷)下は中学(上野中)です。趣味は政治です。これ一本にすべてを打込んでいます。勿論読書は議員として当り前のことですから」
……(と何のてらいもなく語る。)
時には郷里の炭鉱労働者と酒をくみかして唄も歌うという氏は大正3年生れには見えない程若い。緑丘時代の情熱にもまれて救国の願いと実践は強く逞しい)
最後に北海道開発調査会の事を
「緑丘」誌ではじめて知りましたが「先般北海道新幹線の試乗を行いました。もう定例研究会は三十回を迎えております。政界、財界を問はず広く知識を吸収して、専門的なことに頭を突込んでいる毎日から努めて解放されると同時に正しい物の見方をしようと思って定例研究会を開催しております。若い人々の参加をも希望しています。」と。
お多忙の所へお邪魔しました。有難うございました。

既に議員生活十八年、戦後連続八回当選という経歴、加へて撓まぬ研究に溢れる斗志で展開する鋭い論陣は常に政府委員をして、その心胆を寒からしめ、さすがの池田総理もタジタジとなることしばし、外務委員会の三人の侍と称され、彼等をして恐れさせる、その一人という氏の活躍ぶりは異色ある緑丘人としてつとに伝へ聞いておりました。

高商時代は

議員生活は……

其後の入手しました資料を報告させていただきます。
越崎宗一氏より 創立二十五周年記念特集号、同回顧録特集号
越崎清二氏より 大正十年卒業告辞、創立二十周年記念論文集に題す加茂学長より 昭和八年入学宣誓式告辞、大西全集の刊行に際して、

「伴房次郎先生の書翰と追憶」

編集出版者のために一言

越崎 宗一(大一一)

昭和三年卒業式告辞、昭和九年函館大火時の救援依頼状 その他
「伴房次郎先生の書翰と追憶」申込
追加
(氏名) (部数)
山口 保栄 一冊
小山 保栄 一冊
小山 猛 一冊
合計一二六冊

限定版

「伴房次郎先生の書翰と追憶」

資料続々集まる
大正10年卒業式告示 昭和8年入学宣誓式告示も
更に申込者を募る



墓目編集長の熱意が実って伴先生の書翰が続々集り想日記が多数寄せられたことを知り欣快に耐えない。いよいよ近くこれが単行本となり颯爽として緑丘会員の前に姿を現わす日と思うと胸がワクワクするのは僕だけではない。
「い、本になったのう」
きつと伴先生地下で目を細めて喜ばれるに相違ない。
ところで僕が寒心に耐えないのは申込部数が至って少いことだ。御承知のこと、思うが当節は人件費が高から出版費の大部分が組み代にかゝる。即ち組み代は百部つくっても千部つくっても同じであるから数が少なれば単価が素敵に高くつく。一冊の代価が余り高くつけば捌き難いということである。墓目君の悩みは申込予約部数の少きにあるのではなからうか。本人は営利出版者でもなく、恩師への報恩の念にかられてのことであるから緑丘会員は本出版

を目前にして、もう少し協力していいのではあるまいか。
そこで書翰の提出者並に想出寄稿家に提言する。これら協力者に対しては僕も感謝する一人であるが、この本の本当の著作者は伴先生と書翰の提供者並に寄稿家なのである。即ち(故人の先生は別として)この本は自分等が著者となつて出すのだと考えていたのだいて、お一人の申込が一冊ということなく自著の献呈本として各自がもう少し多く申込んでいただけないだろうか。墓目君も多少は見込数をつくるのだからと思つては、やりきれないだろうし、大部分が予約数で片づけば大いに助かること、思う。同君の思いは喉まで出ていても、これ以上頼み難いのだろうと考えるので、一言代弁をつとめる。同窓各位の御賢察と、さらに一層の御協力を御願います。
(一九六三・八・一一)

冷暖房及び管工事全般設計監督施工

日邦工業株式会社

取締役社長 井 薬 政 市
相談役監査役 宮 地 邦 介(大11)

大阪市西区南堀江通1丁目2番地 電話大阪(3) 8461(代) ~ 5番
工場 大阪市大正区南御加島町二丁目二七二番地
出張所 横浜市鶴見区東寺町七二五番地 電話 鶴見(4) 2303番

ス プ レ 業 薬

厚生省薬局編集薬務公報発行

代表取締役 酒谷 周蔵

東京都杉並区阿佐ヶ谷5の70

電話 (386) 0896番



塩野義製薬(株)
東京支店勤務

問は 赤津俊樹(昭一九卒)

東京銀行カラチ支店

亀井尚一 (昭一八)



大阪支部の皆々様御元気で御活躍の御様子、何よりと御喜び申上げます。

緑丘三十一号、三十二号御送り戴き有難く拝受致しました。何時もながらの御厚情に異国の地にある身、一しほ喜びも深い次第であります。

当地は今年は幸いに四十度を越す暑さの日は僅か二、三日だけで大抵三十七、八度の日が多かったので現地の連中も近來にない涼しい夏であるといっている位で、比較的涼しい夏を過す事が出来ました。しかし何といっても当地の気候は Hot、Hotter、Hottest、の三段階しかないといわれる位の処であります。為、だらだらした暑さの連続で、体力の消耗も激しいようでありませぬ。私も既に二年を当地で過す間、未だ一度も病気がらしい病気にせずすこしておりますので、何卒他事ながら御安心下さい。

緑丘誌は一号一号と内容が充実し

てゆき次々と新しい企画がされてゆき、毎号本当に楽しい気持ちで読んでいる。異郷にあつて、同窓各位の御活躍の様子を手にとるが如く知る事が出来るのも緑丘のおかげだと思ひます。今度は石田さんが愈々支部長で、藤目さんが副支部長、それに永年海外生活を送られた滝沢さんを加え、若山さんが幹事長として采配を振うようになられ、大阪支部の愈々充実発展の御様子をうかがい知り、私も一日も早く帰国して、また皆様の仲間入りをし、あの和気あいあいたる支部総会や地獄会の会に出席したいものとおもっています。そして大阪支部の発展を心より祈っております。

高橋一男

去月十日に大阪緑丘会十日会に出席実に久しぶりに滝沢さん、堂城さん、それに私の同期の田中君、宇山君に面会出来し良き思い出になりました。また小林象三先生に卒業以来三十四年振りにてお目にかゝれたのも有意義でした。

山尾温吉 (昭七)

教育テレビの、広島のころで中野先生御夫妻の姿に接し非常に嬉しく懐しくあり、ちよつと独特な口調は昔講義を聞いたときそのまま、度いすし元氣なうちに一度御会い度いと思ひました。

KYC

最高の品質と 最高の技術を誇る!!

KYCの製品

- ポータブルコンベヤー 各種
- クライマーコンベヤー 各種
- スラッターコンベヤー 各種
- ローラーコンベヤー 各種
- コンクリートミキサー 各種
- バッチャープラント 各種
- 自吸式ポンプ 各種
- バーチカルポンプ 各種
- モータープーリー 各種
- ウルンチ 各種

KYC 総合建設機械のトップメーカー

光洋機械工業株式会社

取締役社長 奥村正美 (昭17年)

本社	大阪市北区南同心町一丁目二番地	電話大阪(351)3091~5(代表)
大阪支店	大阪市北区南同心町一丁目二番地	電話大阪(351)3091~5・8291~5
東京支店	東京都千代田区神田小川町二丁目三番地(新小川町ビル)	電話東京(291)1216・1309 3381~5
九州営業所	福岡市中浜口町一九番地	電話福岡(3)1841・2414
名古屋出張所	名古屋市東区堅代官町一四番地	電話名古屋(94)1315
仙台出張所	仙台市北材木町三九番地	電話仙台(22)5247
札幌出張所	札幌市南十一条西八丁目五四一の二番地	電話札幌(5)9868
高松出張所	高松市塩上町一一八一番地	電話高松(3)4392
広島出張所	広島市松川町四の一番地	電話広島(61)7620
工場	寝屋川・守口・吹田・東京所沢	

緑丘会昭和八年会 卒業30周年大会



6. 6. 熱海、ウロコ

昭和八年三月卒業以来既に三十年を経過、かねてから卒業三十周年大会の開催を熱望する声高く、諸準備をととのえていたが、ついに六月十六日熱海において大会の幕は切っておとされた。

思い起せばカラマツの山のふところに抱かれ、遙かにオホーツクの荒海を望み、全く学校は俗世間を離れたところであった。夜ともなれば小樽の街の灯の明滅に多感な胸をふるわせる。寮を出て地獄坂を下れば妙見川畔に友と痛飲して青春をまきちらす。亭々として天に聳ゆる校庭のポプラ、冬には地獄坂の途中に楚々として可憐な赤い実をならすナカマド等、いま鮮やかに甦えつつくる。

いま恐れを知らぬと書いたが、全く恐れを知らず悠々と山を下って三十年、遠くは新天地を求めて満州に或は内地にと、それぞれ雄図を秘めて飛び立った友はどうしたか。昭和八年といえは最も不況の烈しかった年、確か卒業迄に就職のきまつた者は五十名足らず。それから間もなく支那事変から大東亜戦争となり、社会に出てから三十年の内、戦争前後の苛烈な時期を加えて約半分は戦争の影響を受け、各自悪戦苦闘してきただけである。このうちにはあたら青春の身を大陸の曠野に、また南方戦線に、骨と埋め去られた者も数多くいる。全く大変な時期を経過してきたものである。これ等の面々が、どんな顔つきをやってくるか。

参集せる者、恩師を含めて実に左記の通り六十七名。以下参考者名簿



記載順に記す。カツコ内は現住地。

- (恩師) 品川秀三先生(函館) 木村重義先生(東京) 井上紫電先生(名古屋) 原岡武先生(小樽) 久木久一先生(小樽) 苦米地英俊先生(東京) 大谷敏治先生(東京) 松尾正路先生(小樽) 大野純一先生(小樽)
- (同期生) 一谷(神奈川) 名雲(東京) 小池(東京) 鈴木(小樽) 宇尾(東京) 会津(大阪) 児玉(東京) 美浪(小樽) 高見(名古屋) 池田(札幌) 横山(東京) 河村(東京) 能沢(東京) 室(大阪) 助川(横浜) 八木(東京) 山本(札幌) 風間(東京) 大河内(東京) 和島(千葉) 奥井(東京) 大沢(埼玉) 佐藤(北見) 本間(神戸) 米川(仙台) 大塚(東京) 佐藤文(東京) 日下(東京) 中津(函館) 神谷(東京) 近江(東)

京)羽石(東京) 内崎(東京) 井須(札幌) 土岐(東京) 桑原(東京) 蔵(青森) 石崎(函館) 森(横浜) 根本(札幌) 金子(沼津) 中村(東京) 渡辺(東京) 平松(神戸) 南(東京) 菅井(仙台) 野崎(東京) 酒井(東京) 小島(東京) 鈴木賢(東京) 浪岡(東京) 田代(東京) 五月女(埼玉) 田制(東京) 遠藤(東京) 佐々木(青森) 伊藤(東京) 永井(札幌)

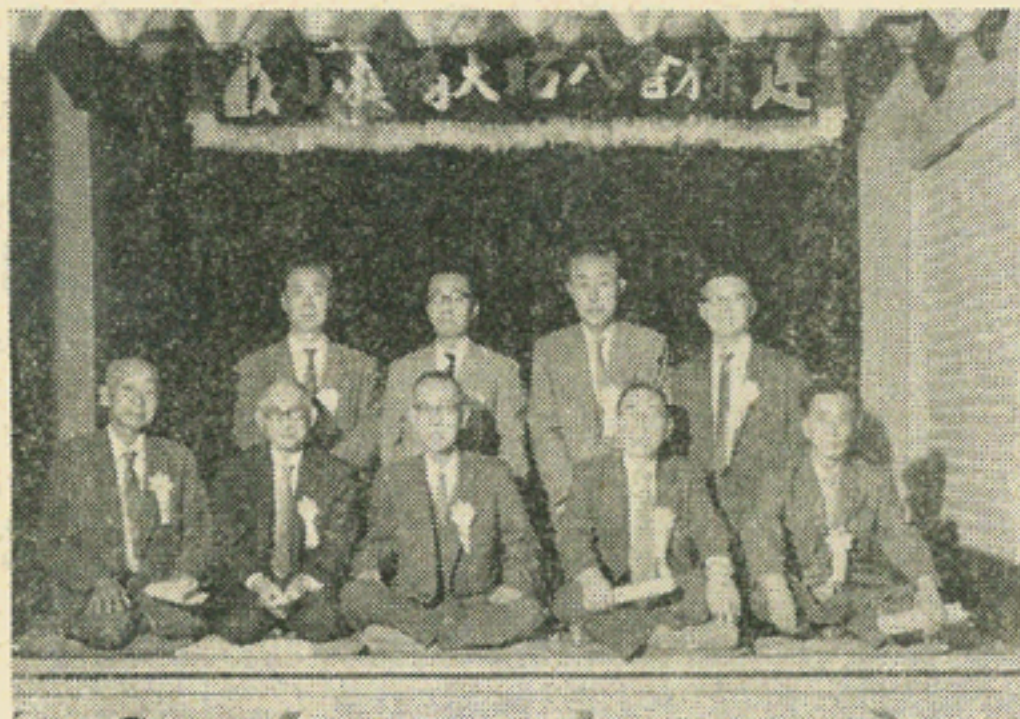
やあやあ、よくきたよきた、握手の連続である。先生方は満面笑をたたえてこられる。期せずして拍手の嵐。一人一人をかねて頼んでおいた写真屋さんがパチリパチリ。チツトも交らんああと感心される者、白髪の多くなった者、流石に毛の薄くなった者等だんだん数がふえてゆく。もう自分の年を忘れ、目は若々しく輝やき、学生時代と全く交らぬ活気が満ちてくる。

全くよく集ったものである。北見からはるばる馳せ参ずる者あり、不参加を通知してきて、矢も盾もたまたまらずやってきた等の飛び入りもあり当初四十名位とふんでいたのに、現存者一三五名の半数六十七名とは、幹事一同全く嬉しい悲鳴をあげてしまった。予定していた会場は極端に狭くなり、思わぬ不便をかけてしまったが、そんなことは頓着なしで各自わいわいの賑やかさである。

愈々世話人の挨拶、経過報告あり進行係の順序に従って先ず物故者に対する黙禱をささげる。当時元気だった友のおもかげ。しばし悲しい気持ちに襲われる。友よ安らかに眠れ。

次に諸先生のお祝辞を戴く。各先生とも相当の御年輩になられたのに、はるばると御参加願ひ、何ともありがたい次第である。なかには東京までは無理だと思つたが、家内に叱咤激励されて参りましたと感激の涙を浮べる先生等、ほんとうにありがたく嬉しい限りであった。何としてもお話願う時間が短かったことは、甚だ申し訳なく、また残念だったが、進行の予定があり、やむを得ず各自の自己紹介に移った。

一人の持時間一分、一時間で終了の予定であったが、どうして、どうして大変な目算違い、まだ半数も終わらぬのに一時間半もかかる仕末、進行係もこれが一番楽しく、また意味



のあることだから大目にみようではないか、とその勢いに完全に圧倒された形、自称特待生やら、赤点を助

けて貰って何ともお礼の申し上げようもないと神妙に先生方に頭を下げる者や、お前は卒業出来たんか、とひやかされる者等、珍談が次から次へと出て可笑爆笑の渦、これも卒業三十年の星霜を顔にきざみこんでの話、なかなか味のある話であった。

さて際限がないので、残りの半数は翌朝やることにし、宴席に移った。のむほどに酔うほどに、幹事の方で作成した想い出の歌集を中心にマイクの前でパン声を張り上げる者やら、そのやかましいこと。俺お前から始めて遂には北海道弁丸出しのペーペー言葉が飛び出す。校歌、行進歌を歌って最高調、時間のたつた九時はとづくにすぎず十一時半にもなる。たまりかねて進行係が解散を告げた。それでも部屋に帰ってから二次会をやる者、有志で街に出る者あり、満足に睡眠のとれた者は何人いたらうか。

翌朝八時に再び自己紹介を開始。後次の大会を五年目にするか、十年目にするか計ったところ、五年目が圧倒的多数であったので三十五周年を開催することに決定、さしもの大会の幕をとじた。

本大会にどうしても都合で参加出来なかつた数多くの諸君、ほんとうに残念だつたことと思う。三十五周年は是非御参加戴きたい。

この大会開催までの功労者鈴木三七君、また妻君の手伝でこの旅館をお世話してくれた金子君、纏め役をつとめた平尾、児玉、横山、名雲、能沢、八木、一谷、助川、奥井の諸君には深甚の謝意を表したい。

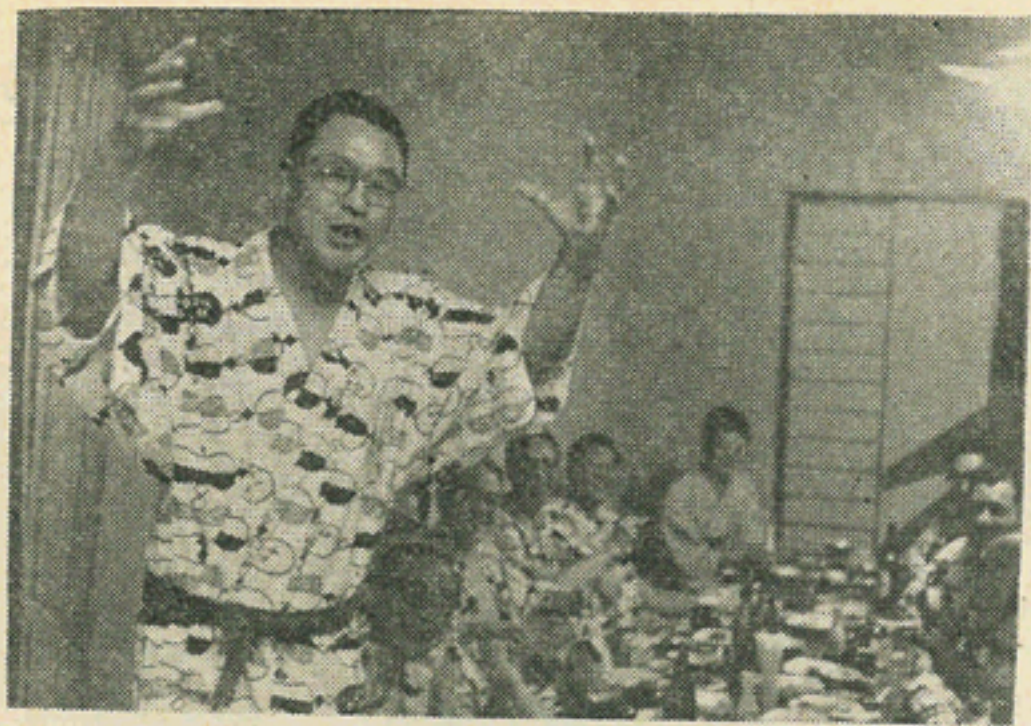
東栄段ボール株式会社

埼玉県越谷市大里688番地
電話 越谷(0489) ⑥ 2111 ~ 8番

また大阪葦目君の総丘編集への非常な熱意に対して感謝の外はない。この労苦を理解して購読を申込む者が続出する。小生は何もしなかった責に、せめて大会の記録でもここに記した次第。乱文のところは平に御容赦願いたい。

大会が終つて特に感じたことは、三十年の星霜は決してそれだけ年輪を加えたということばかりではなく全部が意気軒昂、これからがいままでの苦斗の経験を生かして、幸福な人生を築くのだという気概に溢れていたということ。

緑丘に学んだ同志よ、
御健斗あれ!!
(小池三郎記)



苦米地 英 俊

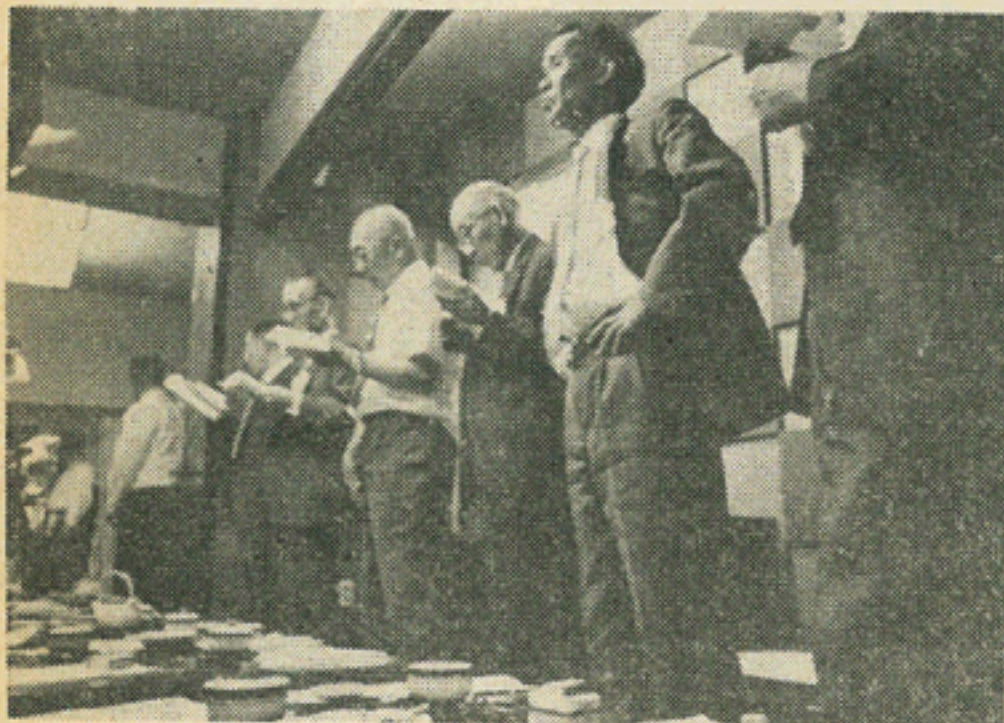
三十年磨いた品位ある面影に奇抜

とユーモアで爆笑を連発させた自己紹介、戸磨べ知様無限の喜び

- 原岡 武
緑丘剛健士 北南参集
和氣満堂 歡喜無尽
淡笑三十年来老翁傾杯
興又楽一念 諸士健又幸

大野 純 一

この度の会で驚いたことが二つある。一は七十名近くもの出席者があつたこと。二は十数万円の会の赤字を幹事指名の数名で分担してもらうことに即決されたこと。二つとも緑丘昭八会でなければ見られないこと



である。私は遙々の招待に感謝の意を表すると共に、諸君の自愛健斗を祈りつゝ帰郷しました。

品川 秀 三

三十年目に皆様と親しく御目にかゝる機会を与えられたことを感謝いたし懐しんでいます。ことに私は文行寮で九年も寮生諸君と一つ釜の飯を喰つた関係で懐しい思出はなほ一層であります。

益々皆様の将来の御大成と御健康とをお祈りする心で一杯であります

菅 井 長 平

自己紹介は一分以内と予告されていたので卒業後の略歴を印刷して配布、その口上に三分を超過。

高 見 美 雄

素晴らしい集いでした。熱海の夜を恩師学友一同が三十年前の感激の小樽に戻してくれました。幹事諸兄よ有難う。

井 須 庄 二

本当に楽しい会であつた。はるばる札幌から出てきてよかつた。幹事さんに深謝致します。

蔵 建 蔵

三〇年振りでボン友、悪友に再会

し無条件に楽しく、嬉しい。次回5年目がいまから楽しみだ。

美 浪 治 郎

久木ぶり品川こえて苦米地大野松尾のユーモア大谷ありて原岡木村おわり井上でんのごうかばん。

註 おわり(尾張国名古屋)紫電(殿)先生を意味す、出席諸先生芳名つき合せ

能 沢 正 義

全く予想外の盛会で御出席諸氏の御好意と御協力に対し世話人の一人として只々感謝感激あるのみ。

羽 石 錦 次

あの日熱海の宿は三十年前の緑丘の再現でした。夢よもう一度と念じ次回の記念クラス会を期待します。

(二五頁より)

の先生方の御話のしめくり、招待申上げた我々の顔は皆満足そうであつた。

右は席上の話ではあつたが、勿論それぞれ、先生と教え子のつきぬ話は徹夜、翌朝と続いた。去月、京阪神ビールパーティー時に諸先生の御様子を簡単に御知らせした処、質問を受け、詳しく再報告せられました。一度諸先生方は近況短文を発表されては如何。

昭和八年三月五日、第二〇回卒業生として我々一八〇名が母校を、そして大部分の者がなつかしい小樽を去つて三十年になりました。三十年はお互にとつては短くない歳月でした。これを記して全国同期生会を催すべく去秋十一月、上京を機にお集り下さつたのは児玉、名雲、能沢、田代、宇尾、八木、横山(秀)の諸兄。

協議の上、六月上旬に熱海でということになり、集まる者は推定四十五人との目算でした。その後、在京世話人の数次に渉る協議のうえ六月十六日(たまたま「父の日」に相当)に催すことになり、小生も母校の麓から大野、原岡、松尾、久木の四先生と美浪君と出席してみると、なんと先生方はお招きした当時の先生十七名の内、過半数の九名と同期生は



臉に浮ぶ
あの日あの友
鈴木三七

五十八人(現存者一三五人の四三%)という同期生会としては恐らく記録的な大入りぶり。

東京から同道の写真師が右往左往して撮影した写真も個人撮影六十七枚、九先生で一枚、十八づつで写した同期生の記念写真六枚等々四百余枚にもなり、これまた記録的な枚数でした。

会の模様等は小池三郎君が別途お書きの通りです。終生想い出になる熱海の一ときを過ぎたことは誠に欣快の至りです。

次回は三十五年を記念するか四十年を記念にするか、その節には今回ご不参の方も出席されるでしょうしお互にとつては持望の会合でしょう。ますますご自愛ご健斗を祈ります。

三八・七 小樽、天狗山麓にて

三十年目の

先生のプロフィール

本間 広 松

編集部より当日の諸先生の御様子をお知らせしてくれとの要望により左記投稿致します。

出席者七十余名の制限時間二分以内の所感では、社長、重役と社会的に一物ある諸兄では物足らないのは勿論のこと、翌朝におよんだのではあるが、幹事の配慮、心配はどこ吹く風と、第一打者、苦米地先生の挨拶、クラス会で本日の出席率最高、皆さんの社会的地位云々と稱賛のうえ、厚き御礼の辞、拝謝、しかし何時しか五十余才のクラス員の顔は、先生にとつては、学生の顔に変わったのである。とうとうと三十年余前の授業時の言葉となり、二十分近くの間、聴く者すべて「先生短くむすんで下さい」と幹事がいまいいかいうまいかと……読者は御想像出来ましよう。とうとう学生にさせられた。

間、そんなことはよしなきいと隣りの品川先生は卜部先生のその行為を止めるに、四季を問はず実行されたとか、曰く「三寮の方々よりも二寮の方々に」との御話、二寮の連中、三十余年後の品川さんに熱海の夜に感謝の涙、当時の他のクラスの先輩、後輩、の方々にも御知らせする次第。

二番は品川先生、頭の毛は一本もないように見受けられましたが、非常に元氣そう。我々の時代の三寮の舎監、招待の礼、皆様に逢えた嬉しさ、と聴いてる方もすつかりなつかしさ、と聴いてる方もすつかりなつかしさ、うれしさを胸一杯。さて思ひ出は三十二、三年前に逆る。隣の家は二寮舎監の卜部の岩ちゃん、夜中の十二時―二時になると、学生が皆帰っているかと毎夜の事乍ら御心配の余り、戸を開けて二寮に登る瞬間。

第三打者 原岡先生、八十才を超えられて、まことに老人らしくなられておりました。招きを受けて、体も不自由ゆえ、出席すまいと考えておられた由、持つべきは老妻、先生には我々と同年の立派な御子息さんがおられた。他界されて先生御夫妻には一生のつきぬ心のきづな、その息子に逢うと思つて、どんなに迷惑を掛けることゝなつても止むを得ぬ老妻に鞭打たれ、この席に居ると、臉に涙を浮べての御話、四寮で一番心配された小島君その他、心配させてくれた学生ほど、何時も思ひ出すとのこと、集つた我々「先生何時までも御元氣に」と思はぬ者は一人も居らなかつたであろう。

四番打者は松尾先生、我々の学生時代の時結婚した先生のなかで一番先、大谷さん、中野さん、木曾さん後思ひ出せないが、松尾先生曰く小樽高商入学は我々と同じ年であつた為め、それほどいたためつけられなかつた。

った。公園通り、妙見川、学生と夜の散策とスキーの思い出話、聴く者のなかではマダム・マチルドを思い出す連中も沢山あった由。

五番打者 大谷先生、誠にハンサム、頭の毛も出席者より多い方、全然昔と変わらぬ姿であり、話し方であり、挨拶の大半は本日はワイフの御礼を代弁云々、結婚した御相手は大田すみ子さんであったか、筆者は忘れたが、蘭島キャンブのこと、ライバル〇〇川先生から大谷夫人になる経過や、純白の水着が脳裡をかすめる。その当時の我々クラス連中に御世話になった御礼を夫人の言葉として御礼申上げるとか。続いてナポリの話の出なかつたのは残念。クラスの中に女について大谷先生を入れて二重、三重の問題があった一人だと告白した者が当夜出た位、いまからでも遅くはない？ 女にもてる授業の講師になつては……

六番目は久木先生であつたが、木村先生であつたか。久木先生は目下現役教授、学校の様子を詳細に御話しになつて、あゝあの建物は、あのロインは、と出席者うなづいておつた。椎名さんが大阪に転出された後の久木さんで一番旧顔、当時の諸先生の様子も御話しになり、加茂学長の伝言等仲々ツツのない御話、立派な先生になられて我々も安心、母校のためよろしく。

木村先生の御話は、先生の厳父も教育界の権位者、始めて教鞭を取つたのが我々クラス、何を教えたかは別として、教壇に立つた時はフルエテと、当時の感想。我々のクラスにはE組と称する三年のツワモノドモ

高商後輩の気弱の先生であつたのか思い出ししても申訳のない我々の行動であつた。鈴木組長が教務室で授業云々交渉中に、先生遅刻で解散、授業中、また試験監督中の先生をオドカシタ連中が、その夜にはうようよ、いまは東大の商学部長、息子のことで先生に御願いをする義理も出来ないような我々悪学生であつたらしい。

八番目は井上先生、もともと好男子、授業の時の話振りも、ゼミを取つた連中の話では昔とソツクリとのこと、木村先生同様我々クラスは恐ろしい学生であつたと、御話振りも速慮勝ちで、苦米地先生とは対照的、何十年経つても先輩、後輩は続くらしい。

最後は大野先生、夫人同伴数年海外研究帰りの同先生の授業は我々クラスや貨幣論、為替論のことには一言もふれず、現在の心中を、慈愛のこもつた句調で、もともと能弁ではない先生ではあつたが病気のせいかな筆者は少し舌の方がという感を持つたのです。自分は倒れる数年前好き煙草を余りに多く喫ひすぎた。これも長年の習慣で、夜は二時、三時まで読書をそして、その間煙草の連続、睡眠不足と重なつて遂に過労が原因となつた。また倒れた時の模様を詳細に説明、その処置の如何が大切と、後輩である教え子に学究ならぬ高血圧症の授業、聴く者も試験問題の解説以上に熱心に拝承、先生の御話に愛情があふれ、さとすが如く我々に我身の経験をさせまいとする祈りにも似た御話。クラス会の最後

(二三頁へ)

異動

栄転

- 下斗米安蔵(昭一一) 雪印乳業財務部長から雪印物産係社長に
- 東京都新宿区市ケ谷富久町二五 泉安治(昭二八)
- 東海銀行東京経営相談所から同行関西経営相談所次長に
- 大阪市東区平野町四丁目一八 藤田巧明(昭三〇)
- 日本清酒株式会社東京出張所勤務に 東京都中央区日本橋茅場町二ノ一三
- 津島正雄(昭一七) 雪印乳業福岡営業所から同社監査役室へ 東京都中央区日本橋江戸橋一ノ一五
- 伊原利勝(昭一四) 第一銀行西銀座支店長から第一銀行総務部次長に
- 東京都千代田区丸ノ内一ノ一 河信一郎(昭一一)
- オーエム製作所本社から東京支店営業部長に
- 東京都中央区八重洲六ノ一 井上尚(昭一三)
- 大阪瓦斯株式会社境川営業所へ 大阪市港区南境川町一丁目一二

住所変更

- 山口恒四郎(昭一一) 武蔵市吉祥寺東町三丁目一三一―四(番地変更)
- 藤田巧明(昭三〇) 埼玉県越谷市蒲生二、七一六
- 桜庭幸雄(昭一一) 東京都世田谷区松原町三の七八三
- 石田平八(昭二) 大阪府吹田千里山松ヶ丘一三五(電話大阪六八九八)
- 森隆郎(昭八) 横浜市から札幌市南一条西一丁目 日正汽船へ
- 清水貞雄(昭三) 東京都から札幌市北三条西二十五丁目へ
- 辻本正(昭一六前) 盛岡市覚山脇五〇ノ一二へ
- 山本芳治(昭一六前) 東京都から広島市牛田町南区三八七へ
- 牧野茂(大一一) 金沢市寺町二丁目七番一三号
- 栗原強(昭一四) 大阪府枚方市岡新町一八五の五へ
- 中野孝太郎(昭一一) 東京都目黒区清水町十二(電)七三―四六六七
- (明春二月末に秀和青山レジデンスに移ります)



日立商品特約店

日本電気機器株式会社

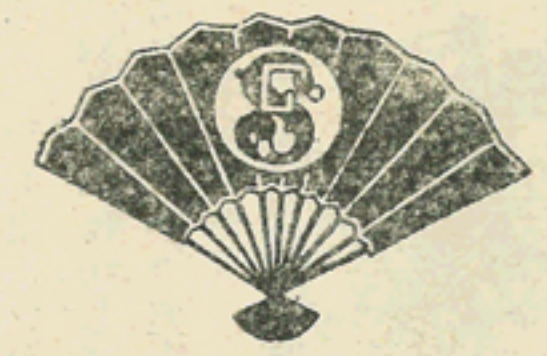
取締役社長 天野雅司(大正15年)

本社 サクラバシ日立シヨーストール

大阪市北区曾根崎新地2丁目50番地

電話大阪(361)8871番(代表)

大阪(361)4602番(夜間専用)



日本製粉

本社 東京都中央区京橋三ノ二ノ四

電話 28局(代)2221・5191

工場 横浜・東京・高崎・小山・名古屋

神戸・門司・久留米・小樽・札幌

恒例 京阪神合同ビヤパーティー 新人続々参加

サツポロビール大阪工場
7月20日



石田大阪支部長

京阪神合同のビヤパーティーが七月二十日午後二時からサツポロビール大阪工場(茨木市)で開催された。関西には幸にしてビール会社勤務の幹部が、この十年間途絶えた事のない事が京阪神の緑丘人にビールパーティーの機会を与えてくれていると、いって差し支えないであろう。

かつてはアサヒビール工場に畑信太郎氏(大一四)が庶務課長(現アサヒ運送代表取締役)として勤務され、今までに京阪神の総丘人に絶大なサービスを下さった。

今回のビヤパーティーもサツポロビール取締役大阪支店長石田平八氏(昭二)―緑丘会大阪支部長―の御好意によって開催された。

恒例のビヤパーティーは三〇度を超える炎天の日であった。東海道線茨木駅を降りた緑丘人は会場サツポロビール工場に向った。石田支部長、葦目副支部長、若山幹事長も揃って会員の集まる定刻前から会場に姿を現わして笑顔で迎えてくれた。京阪神支部の緊密さというものは、こんな熱心な幹部がおればこそと胸を打たれた。定刻にはもう三十数名が集まり歓談している。

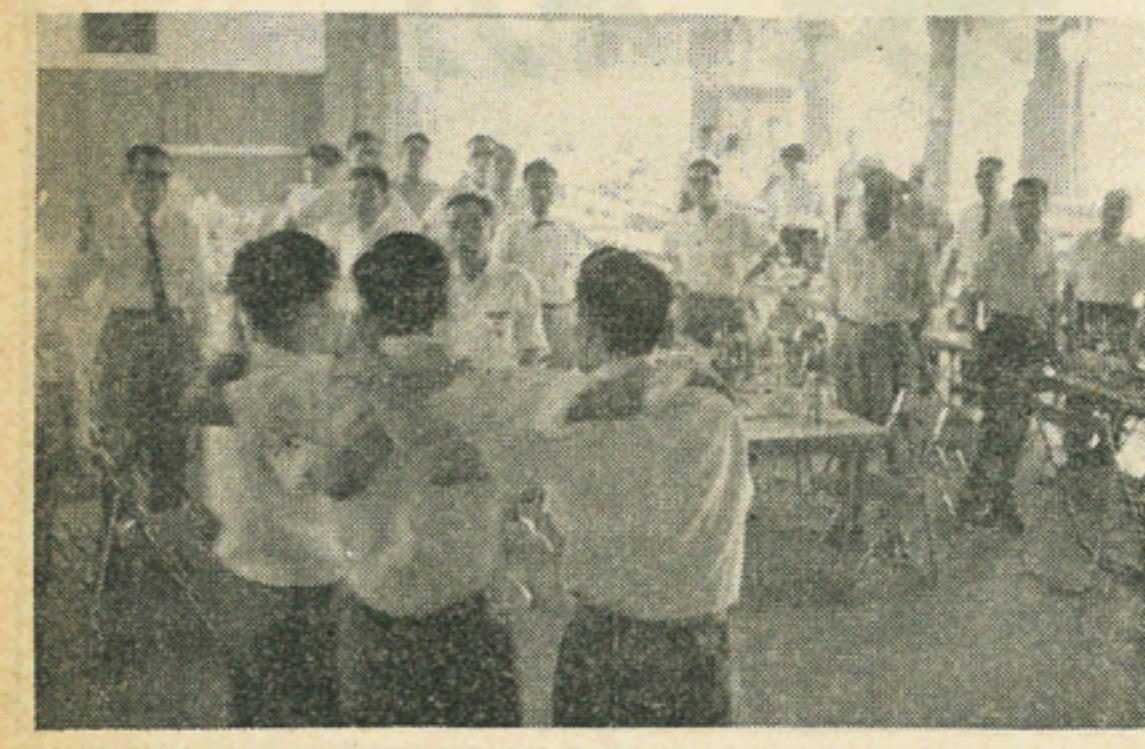
若山幹事長の司会により石田支部長がニコニコとビヤパーティーの挨拶をされる。椎名先生の乾杯音頭でグツト乾杯、しばし静寂、今回のビヤ



パーティーは転動になった住友海上の中野祐良氏(昭一四)はじめ木下産商の石坂弘氏(昭三七)等十名程の新人を加えた。若山幹事長は新人紹介に大いに努める。

神戸支部から幹事長の本間広松氏(昭八)京支部から山村太兵衛氏(昭一一)も参加あり、本間氏は新人挨拶のあと、昭八会三十周年記念祭に出席された先生の其の時表情を面白おかしくかたる。

椎名先生は緑丘同窓会への出席が全ての会合中最も楽しい会合であり、諸氏は緑丘会には決して欠席してはならないと、次いで実方先生(昭



二)も緑丘同窓会を賞讃し、九月母校へ臨講に出席されるが、学園を築かんとする若い人々に期待すると抱負をかたる。東大ドクターコースを出た令息実方二世の母校勤務を披露して下さった。

宮地邦介氏(六一一)は懐い出の歌を朗詠する。

追ってすぐ尻をか、ねば雄雉の
見さかえつかぬ犬は
かなしも

二時半に及ぶビヤパーティーは何時終るとも知れず。
若人の緑丘歌で本日の幕を閉じた。

新しい構想で出発した昼食会



大阪支部十日会(七月度) スピーカー 住友銀行 滝沢中氏を迎えて

七月の十日会は日本ビール大阪支店会議室で正十二時から行はれたが当日は住友銀行外国部担当の常務として其の道に経歴の長い滝沢副支部長の特別講演があるというので、いつもより出席者が多く、また名古屋支部の高橋兄が十日会の運営を見て名古屋の同主旨の会合を計画するために特別参加された。

なお母校の卓球部が今夏関西遠征で来ることになったので大阪支部においては、これが歓迎と激励の懇談

会を行うこと、し有志の参加を決定した。

滝沢常務のお話は、これからの海外の政治経済状況に処する基本的な考え方を示されたものであつて、世界が自由陣営と共産陣営と二つに対立したまゝ、経済的にも抗争がつづいて行くとき、米國が日本品の輸入を制限するからソ連や中共と経済的に近づいてもかまわない。英國ですら中共と経済協力の中を拓いていくのは危険である。米國は自由諸國のリーダーであると共に米國の政府であるということを考えれば、米國の対中共政策もまた国内産業保護の政策も理解出来ると思ふ。そういう意味で日本の将来のために最も思慮のある判断行動が吾々の日々の仕事を通じて明確にされなければならない。

当日住友銀行は常務会の日であつて吾々の会合のために時間を割くことが大変な犠牲であつたようであつて会議を中座して、我々の会合に顔を出され、お話を始めると同時に、また会議に戻られた次第で十日会の為に万難を排して出席された同氏の熱

意に対して参加者一同云い知れない感動をおぼえた次第である。

▲滝沢常務講演要旨▼

一、米國は世界最強の国ではあるが、やはり悩みを少なからずもっている。黒人問題などは一般の文明國がもっていない、深刻な悩みである。永久に残る問題である。

二、米國の国際収支は毎年30-40億ドルの赤字つづきで、一頃あつた二二〇億ドルに減つてしまつた。減つたといつても、まだ世界第一の金保有國である。日本の経済力を強力にするために、米國は日本商品に対して門戸を鎖してはならないとの意見を米國の政府筋は持っているが、選挙のこともある。またいまでも多い失業者を是以上増やしても困るといふこともあり、国内業者の声に圧される面がときどき表はれて吾々をあわてさせるのである。米國の予算は日本の一〇倍に相当する三十兆円である程米國の富は底知れぬ深さを持つて居るので、まだまだ米國の市場を開拓する余地があり、日本品の対米輸出を更に延すことは、さしてむずかしいことではない。

三、ところが米國がバイアメリカンを出すならば、米國の痛むところをついて、中共や北鮮にプラントを延ばしにより輸出をしたらよいではないかという意見が日本にあるが、こういうことは慎重に考える必要があろうと思ふ。というのは米國は北鮮や中共をソ連以上に敵視しているからである。だが米國と密接な政治関係にある英國が中共に対し旅客機を売っているのはどう言う事かと疑問が起るのは当然だが、そこには兄

弟である米英の間のことであるから如何なる相談が出来ているかも知れない。戦後新しく友人になつた程度の日本には窺い知れないものがあると思ふ。だが日本がいきなり英國のまねをすれば、そのまゝでは濟まないと思ふ。何等かの機会に何等かの形で米國の反撃を食うのではあるまいか。米英と日本の関係は最良の友好関係にあるといつても矢張り「血は水よりも濃い」原則は変わらないだろう。極端に現実論を言うならば米國は日本を中共、ソ連に対する防波堤と考へて対日政治、経済の運営をすつと見て良いのではなからうか？

三、戦後は米國內に異常なほど日本ブームが起きている。戦前に米國に旅行し、または住居をもつた日本人の眼から何れは戦前戦後では正に月とスツボン以上の取扱上の差がある。昔は日本人の行動を許された地域は限られていたが、現在では金さえあれば、どこにでも行ける。それをよいことにして恥し行行動をする人が出てこまる面もあらはれていく。

四、池田首相は米、西欧、日本の三本柱で世界平和建設を提唱したが世界は現在日本の経済力を非常に高く評価している。それは戦後日本の経済成長率が財界一であること、また度々おそれられた国際収支の危機も上手に乗越えて来た等によるものである。しかし、ひるがえつて、日本の経済がそういう評価に値するかといへば、日本の企業の資本構成がなっていないことを思つても、おもはゆい悪いである。砂上の楼閣という表現がそのまゝあてはまるのであ

江上トミさんの 舌が…… 舌をまいた。

広い世界の料理をまな板の上ののせてみたいと常日頃思っている私の前に「世界の味」とマークした缶詰が現われました。何も予備知識がなかったので、またか、と思ったのですが、一つ一つ味わっている内に、この缶詰を作った人は……と疑問が湧き上がりました。かつて私が世界の旅で食べたその名物料理の味を上手にとらえて正直にこの小さい缶の中に納めてあるからです。後で聞けばこの缶詰を作るためには各国に長期滞在して研究をされた結晶のたまものだとわかつて、「全くそうだ」とうなづきました。

江上料理学院長 江上トミ

本格的な世界料理の缶詰

世界の味

- ロシア風 ボルシチ
- イタリア風 ミートソース
- ハンガリー風 ビーフシチュー
- 印度風 ビーフカレー
- 英国風 トマトスープ
- アメリカ風 コーンスープ
- オランダ風 いちごジャム
- ポルトガル風 ママレード

¥ 700 (5カン入)
 ¥ 1000 (8カン入)
 ¥ 1500 (12カン入) があります。デパート有名食料品店でお買求めの上一度味をおためし下さい。



エム・シー・シー食品株式会社

神戸市長田区荻藻通5丁目15 TEL代(67)1245
 取締役社長 水垣敏正(昭5)

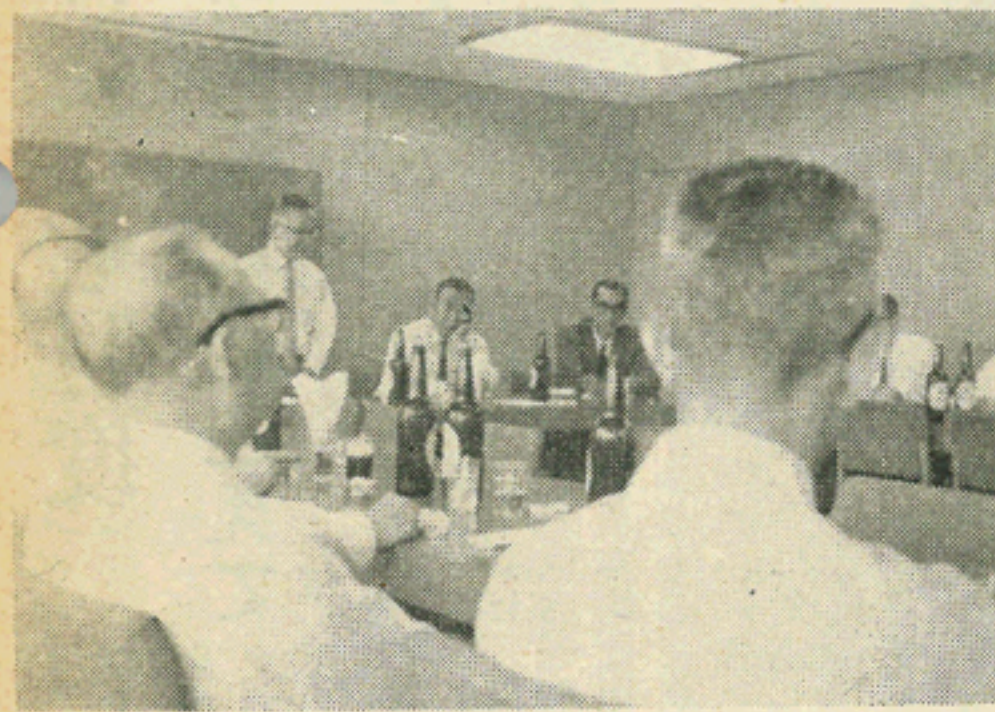
る。昭和の初めに見られたような世界的大不況はもうこないであろうが、もし来たならば、たちまちに崩壊するのは必至の状況である。

五、貿易の自由化の結果は円ペーの統制がなくなるわけであって、今度は外国の工場商社が続々と日本に来ることは眼に見えている。世界的に見て日本は世界最長の成長マーケットである。だから外国の販売サービスは最盛となるであろう。だから、これからの商戦に勝つことはサービスを良くし、且つ良品質の製品を創ることになる。反面日本国民は徒に片仮名商品にカブレず国を愛する心で、その産品を愛用すべきである。

六、以上を要するにアメリカと日本は商売上できるだけ問題を起さないようにして、お互に貿易を増加させて行くという基本線に徹して行くことが大切なのである。

なお前後に一言、住友銀行のPRをさせて戴くと只今の海外活動は左記の通りですが皆さんが貿易をされる時は勿論、御旅行の時も御利用願います。

支店—ニューヨーク、ロンドン、ホンコン
 販売事務所—カラチ
 連系銀行
 加藤住友銀行(サンフランシスコ、ロスアンゼルス、其他四ヶ所に支店あり)
 ブラジル住友銀行(サンパウロ)
 中央太平洋銀行(ホノルル)



大阪支部十日会 (八月度)

スピーカー 杉山昌作氏

八月度の昼食会は十日には一日早い九日に開催された。当日は去年まで参議院議員をしていた日本製箔株式会社社長杉山昌作氏(大一一)に御願いし、約一時間にわたり国会裏話をうかがうことが出来た。自民党と社会党の二大政党対立も実情は永久与党の大政党と万年野党の中政党の対立であって、一切の議案が票決に持ち込まれれば、その帰趨ははじめてからハッキリと社会党の負けが判っている。何とかして議事を引延ばして票決を避けようというのが社会党の戦略。そのための戦術としてサミタレ演説、動議の連発、牛歩

投票が行われ、かつては議長缶詰とか議場入口入り込みなどの開議阻止というヒドイことが行われた等の経緯を説明された。

そのあとで選挙費用や選挙違反などキワドイ質問が出て、話はつきず、一時半解散した。

なお次回は高浜年尾宗匠に余技を御披露願うことに集議一決。粋なノドを御聞かせ願うなら昼ではどうも……というところで夜の十日会が道修町五丁目美々卯で開催されることとなった。

編集後記

☆「緑丘」第三十三号は予定通り九月に出版する事が出来ましたが、昭和の方々はどんなに待ち遠しかった事でしょう。小池三郎。鈴木三七両氏の熱心な執筆、絶えざる連絡をいただき、購読者増員のため会場に於て申込を募り、未出席者にはプリントを印刷送附、併せて広告代として編集部へ金三千円の御寄贈をいただきお礼申し上げます。

☆故酒谷浩三氏(昭三一)の御尊父酒谷周蔵氏は編集部を訪問、無事三周忌を済ませた旨の御報告と「緑丘」一発展のために金一封の御寄贈を受けました。紙上をかりて厚く御礼申し上げます。

☆大阪支部若山幹事長より広く全国の皆様に広告の御協力を御願ひ申し上げます。早速御申込と原稿の御送附いただきまして、編集部もホッとした所です。また原稿送附の御方は至急御願ひ申し上げます。附の少崎宗一先生の書翰と追憶について、越前のが悩みのたね。赤字二十五万圓を覚悟の出版か。



製造品目 鉄道保線用電気機械、通信用電源装置、水中モーターポンプ、コンクリート、パイプレータ、車両用回転機、電動井戸ポンプ、汎用電動機、織機用及特殊小形電動機、一般電力応用回転機、其他電気機械器具

株式会社 芝浦製作所

専務取締役 西野嘉一郎

本社及び営業部 東京都港区赤坂溜池町30(明産ビル) 電話 東京(431)2172代
 大阪営業所 大阪市北区絹笠町50(堂ビル) 電話 大阪(312)1971代
 大船工場 横浜市戸塚区笠間町1000の1 電話 大船(6)2131代
 小浜工場 福井県小浜市上竹原1 電話 小浜1080-2